京城日報
九日夕刊
定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢
廣告料
發行兼編輯人 印刷人
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

◎袁總統卒倒す

北京急電に據れば袁總統は一兩日前腦溢血にて卒倒したる由なるが其後の容態不明なりと傳へらる尚ほ右同樣の情報或る方面及び他の數箇所にも到着し居れり眞僞不明なるも元來袁總統は腦溢血の素質を備へ居るが故に或は事實なるやも知る可からず今や支那時局紛糾の際若し袁總統の一身に變あらんか支那は其中心人物を失ひ大紛亂の狀態に陷るや論無く隨つて我外交も愈々多端となるらん(東京特電)

▲容態不明

袁大總統は數日前腦溢血にて卒倒し其後の容態不明なりとの說あり(北京特電)

◎四川外人に避難警告

四川省官憲は同省内の宣教師に對し形勢不穩故避難す可しと警告せり又四川の官憲は貴州と雲南は互に連絡ありと稱し居れりと當地某國領事に消息ありたり(上海特電)

◎露軍の攻勢 最近の成功は戰局上頗る重要視す

露都來電に據ればピンスクの西南十哩のキルチヨツカウオラ地方に於ける露軍最近の成功は戰局上頗る重要視せらるゝことにて露軍は敵軍の中央を壓迫し戰線を擴張して攻勢に出でつゝあり獨墺軍はコウエルに對する陣營として且つガリシヤの軍と北方の舞臺とを連結せんとして頑強にラフアロウカチチヤルトリスク地方に固著しつゝあり敵がストチヨド河の方面に向ひ西方に退却する時ピンスクは自ら危殆の形勢に陷らん是れ南方より敵の包圍を蒙るべければなり敵は目下引續きガリシヤのチエルノウイタ地方に其の豫備隊を集中しつゝありされど今日までの所敵の進退は成功せざりき(倫敦電報)

雜報

◎即位日一說

袁世凱氏の即位は天文家の建議に依り舊暦一月四日(二月七日)に擧行するやに傳へられたるが正月七日即ち新暦二月十日が更に吉日なるを以て同日即位式を擧行する事に決せりとの說あり(北京)

◎雲南討伐遣繰

支那中央政府は雲南獨立軍討伐に就き鳩首凝議し居れるが其内容は討伐の軍略及び出師軍費問題に關するものにて統率處が雲南獨立軍の戰略なるものを豫測する所に依れば三ありて

一、獨立軍を二軍に分ち第一軍は直ちに東北に赴き武漢を攻め第二軍は北して四川に赴き官軍と決戰せんとするもの之れ第一策

二、暫らく雲南の一省を堅守し漸次貴州四川兩省を侵略し三省を合併して一獨立國を作る之れ第二策

三、暗に北方の宗社黨と相呼應し中央政府の兵力を二分せんとする之れ第三策

前記の中第一策は全く不策にして第二策は中策第三策は上策たるべく統率處にて觀測し居れば同處にては第二第三の二策を獨立軍が採用するの道を與へず之を攻擊し機先を制するを最も策の得たるものとなし爲めに速かに湖北四川に大軍を派遣し互に相應援して獨立軍の根據地を擊破するを緊要となし現に西南軍を續々南下せしめ居れり又軍費に關しては政府は交通銀行に飭し新設の中米銀行に借款を申込み其金額を征討軍費に充てん下心なり然るに軍器は北軍に不足の狀態にある爲め政府の當局者は頗る狼狽の體なりと傳へられつゝあり(北京)

◎二十師長と密旨

上京中なりし二十師長范國璋氏は歸途山海關其他に分駐せる部下各隊を巡視して袁總統よりの恩賜金を分配し且つ雲南の擾亂は遠からず鎭定す可きに付此際特に軍務に盡力すべしと訓諭し次いで奉天に來り段上將軍を訪問し袁總統よりの密旨を傳へたりと(奉天)

◎廿師雲南出師

北京政府は初め雲南事變に對し内心頗る恐慌せるも外面極めて平靜を粧ひ努めて例の懷柔手段を以て其獨立を取消さしむる事の可能なるを信じ過般段上將軍よりの自衞進討の電請に對しても政府自ら穩當の辦法あり威力鎭壓は上策に非らざる旨を電告したるが昨今形勢の大だ重大なるに至るや懷柔策を捨て威壓討伐策を採ることゝなり貴州よりの中央軍、四川よりの左路軍、廣西よりの右路軍の三路軍を以て之を進攻するの計略を定めたるが如し此の進攻軍に參列せしむる爲めか陸軍部より段上將軍に新民府駐剳の二十師の全部を速かに出發せしむ可き旨を電令し來り同師は目下極力出師準備を急ぎつゝあり同師長范國璋氏は六日急遽奉天に來り段將軍に面議したり(奉天)

◎革命運動と吉林

雲南方面に於ける革命黨の氣勢大に揚がり革命黨の首領連よりも反帝政を慫慂し來れるより新伯爵の孟恩遠將軍、新男爵の王巡按使など大に怖氣つき身邊の警戒おさ〱怠りなしと(長春)

◎奉天三陵致祭

北京政府は段上將軍の建議に依り滿洲人援撫の爲め三陵の大祭を擧行する事に決し北京より祭官二名を派遣し來れり大祭の儀式は總て前清時代の衣冠を採用する由(奉天)

◎蒙古王北京行

内蒙古札薩克圖王は先日蒙藏院總裁貢桑氏の電見に接し晉京の途上奉天に到り段上將軍に進見し京奉線にて北京へ向け出發したり(奉天)

◎吉長改約と滿鐵

吉長鐵道條約改訂に關し過日來日置公使は我政府の訓令を奉じて外交部當局と交涉中なりしが右は滿鐵會社より委員を北京に特派し交通部の特派委員と同部内に於て該條約改訂に付き商議することに決せりと(大連)

◎朝鮮米の大停滯

鮮米の大阪移入は昨冬來未曾有の激盛を招き市内倉の收容力缺乏したる結果築港埠頭に大停滯を來し目今入港の艀木船に殘留せしもの大棧橋天幕張の内に山積さるゝもの及び住友倉庫に築港新倉庫に臨時收容せしもの等併て約十二萬俵に上り荷役混雜名狀すべからず又なき光景を示し居れり昨秋收穫の朝鮮米は農業の進歩により其實收高は豫想以上に增加し米質も亦益々改良せられたる爲め昨冬各地米價の恢復に遇ふや朝鮮産地持越の古米と共に熾んに內地に移入せられ殊に昨臘十二月末より船艪著しく輻輳し去月卅一日以來今春六日迄に大阪商船の生玉丸、淡路丸、溫州丸、地久丸、汕頭丸、天草丸、竹野丸、溫州丸、永田丸、天智丸、廣仁丸、潮州丸等千噸以上二千五百噸積の巨船十二隻入津したる一面には是等の鮮米を收容すべく豫ねて期待したる市內の指定倉庫は去月下旬の內地期米下落の影響を受け入庫米の出拂ひ僅に渴みて殆んど滿腹の儘越年したるため豫定したる如き新入米の收容力を得ずして倉庫に大不足を訴へ來りしのみならず近來時局影響によりて荷役人足は諸工場の職工に轉じ神戶輸出貿易の旺盛なるより阪神間の回漕需要に多く引拔かれ居る折柄とて倉庫不足に搗て加へて荷役人足の缺乏にも大不足を告げ指定倉庫に收容するを得ずして斯く埠頭に大停滯を招ける次第なり(大阪)

◎大阪より

▲戰禍東漸と我國 歐洲戰亂の我が財政經濟に及ぼしたる影響は既に受け盡されたりとして徐々に逆轉して好況に向ふ機運に在るも八阪丸擊沈の報は一個の麻痺劑を投與されたるの觀あり(一)英軍のサロニカ撤退が早晩餘儀なく實行せらるゝ事(二)ポートサイド根據地の危險に切迫する事(三)獨墺軍はメソポタミヤ平原を橫切りて波斯灣に進出すべき事等の戰局が漸次東方に伸張されし其結果紅海より獨墺潛航艇をして亞丁を覗かしめなば我商船のコロンボより喜望峰の迂回さへ危險に陷り又陸路印度に砲煙を漲らすの日は我國產業に最も重大なる關係ある棉花は輸出杜絕して印度貿易は悉く減却され對歐對印對支輸出の絕望に至らば我が陸海軍の出師をも生じて第一それが事實となり來らば我產業は一大打擊を蒙り戰費支出による國民の負擔を招致して容易ならざる事態となるべし今日の形勢より推して又絕對的に否定する事難き東歐の戰局如何はかくして本年に於ける我が經濟界をして一喜一憂の材料たるべく尤も注目を要すといふものなり

▲支那商談手控 貴州雲南の排帝政獨立宣言は端なくも江南一帶の平靜を脅かし這回の動亂は相當根據を有し居ることゝて各地の聯絡成功せば其傳播力は容易に侮るべからず之れが爲め在支那商は其前途を悲觀し必要缺く可からざる商談にも非ざるよりは殆んど見合せ居る模樣にて各自それを手控へ居れる模樣にて支那方面の貿易は茲に一打擊を受くべきもの同方面即ち福州以南は橫濱出貨なれば直接大阪には影響少きか

▲手形交換高激增 十二月中に於ける大阪外五箇所手形交換高は總額百十五萬五千九百八十四枚其金額十四億七千四百四十二萬四千五百六十一圓にして前月に比し枚數二千九百五十比すれば枚數に於て十九萬四千五百十萬三百七十六圓なるが之を前年同月に比すれば枚數に於て十九萬四千九百七枚金額に於て三億八千六百萬五千五百八十六圓の增加を示せり其細別左の如し

	物數	金額
大阪	三六六、八八六	四一七、八七〇、六〇〇
東京	五三四、三八〇	七〇八、五〇一、八三〇
京都	八二、〇三四	四一、四六六、一二三
橫濱	七一、七四二	二八、五一六、八一二
神戶	九五、四二八	二八、五八四、五〇二
名古屋	五五、一一三	三九、四六四、六八九

▲見本も尙課稅 東京日露協會に到達したる最近電報中露都露日協會の發電に近東課稅問題の一項あり即ち『商品見本も課稅せらるゝが故にこれを發送するに先ち商品名數量を當方に通知し置くを要す然らざれば見本は稅金不拂の爲に稅關に留置せらるゝことあるべし』との旨各商店に御通知を乞ふと

▲露國藥劑輸出 露國オムスク市藥種業者委員會議所々長は在我國露國領事館を通じて藥種輸出の希望を申來れり之によれば日本同業商にして其商品の輸出又は代理店支店設置希望の方は其商品目錄と買代理店支店設置條件等をオムスク市設藥舖宛送致ありたしとの事なり因にオムスク市設藥舖は各病院、衞生組合、手術所、避病院其他市民二十萬に對する藥劑の供給を司り居るものなりと

▲トロール界不振

共同明治記念航海各漁業會社は其所有トロール船二十餘隻を以て奮勵來愈々活動を開始せしも從來個人持として斯界に一勢力を認められたる橋本一丸組及び原氏所有の船にをいて通計十三隻を減せしより平年ならば最盛期に關すべき昨今も不振の狀態を免れずと(支局發)

人事消息

▲宮井隱吉氏(東大教授) は七日午後弘濟丸にて內地へ
▲大田三郎氏(鮮銀滿洲總支配人) 八日夜入京朝鮮ホテルに
▲小川騎兵少佐(咸南憲兵部長) 九日朝元山へ向け出發
▲佐々木藤太郎氏(慶尚南道參與官) 獨國ミハイロウイッチ大公殿下を大邱に送迎
▲前田昇氏(慶南警務部長) 同上

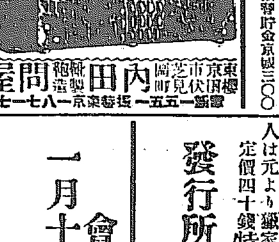
南言北語

▲河南省の洛陽に何でも二哩四方程の土地を買つて莫大の建築が出來つゝある相な▲而も其れが何の爲に誰がやつて居るか明らぬと云ふものゝ多分新帝國の首都にでもなるだらうとの事だ▲彼の咸陽であつたら始皇の阿房宮でも建てるかも知れぬ▲洛陽と云へば河南府の前を流るゝ洛水の下流盆地になつた處だ▲其處で要害も好いので昔から支那歷朝の帝都は此の洛陽の四邊に奠められたもの▲だ本名は河南府洛水の陽にあるから人呼んで洛陽と云ふ▲魏帝の時には永熙の亂に天下に甲たりし大建築も烏有に歸した纖寄でもない昔話もある▲何にしろ洛陽城頭桃李花で袁總統が今日此處に都するなどは變れば變るものだが洛陽の地價をして貴からしむる事丈は受合▲北京政府も嘸南方面には手古摺つて御座らつしやるらしい大分反間苦肉の策が現はれて來る▲郷間か內間か反間か死間か生間か其何れかは存せぬが兎に角孫子の反間篇は全部實地に應用とはオー怖▲湖南の湯薌銘も段祺瑞もやられたと云ふが矢張五間中の奧の手の應用だらうと京童の噂だ次には龍濟光將軍なども危ないと云ふ事だ▲危ないとは反對で日本ではお禮を云つて善いか惡いか底氣味の良くない事が出來つゝあるらしい▲何でも露西亞は北滿洲の既得權と樺太の北半分を差し上げようと云ふ噂だ▲支那は滿洲を全部失禮だがと差し出し相なと云ふ話だ何方も餘り甘過ぎて後が恐ろしい氣がする▲が、まあ進上と云ふ事なら遠慮なしにお受け申して後の話は其の時の雲行き次第と行きたいね▲なあに餘り正直は外交上間違の起り安い事があるよ▲日本も今年は有卦に入るかも知れぬ噂丈けでも結構々々

生徒募集
各種專門學校入學試驗期日切迫に就き特に三ヶ月速成課を設置す志願者は至急申込るべし教師は多年內地中學校教授經驗を有する者
京城府堅志洞四十六番地(中央市場より西へ入る)
各學校入學試驗豫備講習堂

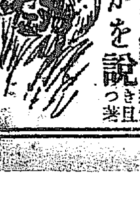
今般平壤に轉勤を命ぜられ候に就ては盛大なる送別の宴を辱うし尙又出發に際しては雨天にも不拘御見送り被下難有奉感謝候 敬白
大正五年一月九日
陸軍憲兵中佐 瀧元二郎

陸軍中將クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯補
滿蒙處分論
定價金一圓 郵稅本社負擔
京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇

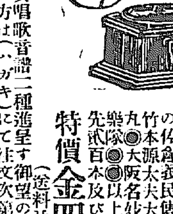
登錄商標

御旅行用 至輕便 至耐久 無比
御使用者間に好評
鞄
東京市芝區伏見町 鞄製造
內田問屋
電話芝一五五一 振替東京一八七一

人事吉凶並に家相鑑定所
右部合に依り總監部通り大和俱樂部前に移轉仕候間舊に倍し御來館あらんことを祈る
大和町大和俱樂部前 易學士 桐原象考

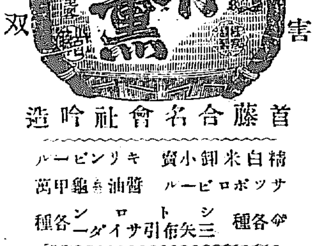
腦病良藥 レーベン
岡田博士を初め森、日向、飯島、福田、內田氏等十有餘名の諸大家が有効證明或は推奬せらる、本品は最高貴藥腦の營養素リンサンを多量に含有する無比の良劑なり故に腦病、神經衰弱、眩暈、頭痛、不眠、記憶力減退等の腦病患者は最終の試藥として本劑を服用あれ、レーベンは容積と體裁を衒らず服用量極めて少くして効顯極めて大なり
藥價 三十錢・五十錢・八十五錢・一圓六十錢
東京銀座弓町 電話京三〇八番 中南定太郎
大阪安土町堺筋 電話本三〇〇七番 振替大阪三四四番 中南定太郎
信用ある藥店に有り無けば直接注文乞ふ

●特價發賣申込の好時●
青坡 吉村君潔著
銃獵之趣味
見!銃獵の手引=多獵を希望せん人= 朝鮮の獵地を知らんとする人
銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損う者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり近は其の銃器を惡知せざるが爲なり本書は銃器の如何なるかを說き且つ著者が多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり獵犬の使用と善惡を說き朝鮮の好獵地を教へたる處始めて「スポーツスン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり

定價四十錢 特價金三十錢(郵稅四錢)
發行所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

會員募集
一月十日より毎週月火木金毎夜外人教師出席教授す
京城旭町二丁目名古屋城內(電話二五六五番)
實用英語夜學會

新年の娛樂品
◎御大典音譜景品附蓄音器大割引販賣

◎本器はスタ蓄音機にて器臺美術マカホーニ塗金屬製鍍金エナメル塗取はづし自在◎發音器パールフホンサンドボツクス◎喇叭朝顏形總ニツケル七枚瓣◎機械十時板演奏強力單式ゼンマイ裝置す◎音律正確
◎◎音譜即ち(レコード)壹等品 浪花節奈良丸、赤垣源藏、小利別、雲右衛門、五郎正宗、孝子傳、竹本源太夫、大井川、樂隊、先代萩…以上器械壹臺音譜八種一部取揃へ
特價金四圓九拾錢(送料及び荷造費◎金壹圓)
御希望の方は現品賓見の上御注文次第代金引換小包にて送る
◎◎景品として御大典唱歌音譜二種進呈す(ハガキ)にて注文あれ地方の方は責任を以て無割引にて他品交換又は返金す◎萬一貴意に適せぬ時は玩具的の蓄音器を高價に販賣する不德商店あり御注意あれ
大阪東區南玉造町 發賣元 帝國蓄音器商會
電話南四四八七 振替大阪二四八六三

毛皮並に皮革製品
廉價販賣部
京城本町二丁目(京城銀行前) 木下販賣部
電話九三八番・振替京城一五四〇番
毛皮油ぬき、なめし、入念の上他に比類なき安値に調製可仕候間多少に不拘御用命の程奉願上候
御注文は凡て本町販賣所にて御引受け申候間同所へ御立寄り願上候
京城黃金町三丁目(黃金遊廓前) 木下製造工場

無双醇良清酒
衛生無害 品質無双


首藤合名會社吟醸造
精白米御小賣 キリンビール サツポロビール
醬油 龜甲萬 各種
シトロン 三矢サイダー 布引 各種
朝鮮發賣元
首藤京城支店
黃金町(電話一一七一番)

晴々しき御瞳

澄宮殿下御健かに生立たせ給ふ

禁苑の濠に薄氷敷きて寒むさうに蔭りゆく日和を追うて戯るゝ水鳥の姿もあはれを増す許りなるに畏くも御産後に渡らせらるゝ　皇后陛下の御近状に思ひ浮ぶも赤子の至情である　陛下には第四皇子澄宮殿下の御殿こは廊下傳ひの御座所に新春を迎へさせ給ひ表立ちたる御祝儀の御事とて在らざれど御內儀の式は滯りも無く祝賀にと參內の群臣に謁見を賜ふ抔何に暮れと無く御忙しう祝日を送らせ給ひたりと拜聞する程いと畏れ多き心地する殊には未だ御避寒の御出もなく日々に澄宮殿下の御肥立ちの優れて竹の園生のいや榮え行くをこよなう喜ばせ給ふ陛下の御顏容の晴々しさ又澄宮殿下には御誕生の折さへ九百三十匁を量らせられたる程なれば其後の御肥立は云ふも更なり此頃にては一日平均十匁宛の御增加にて一貫目を過させ給ひ少しも御むづかり無くて能くスヤ／＼こ御寢みになり御眼覺めになればいと闘らの御眸を可愛げに御瞬きも遊ばされ頗る御健勝に渡らせらるると、御哺乳には陛下の御乳を四回召上りお乳人角田こと女よりは二回御進め奉り未だ御苑の中へは出でられず御部屋の溫度は六十度乃至六十五度を保つよう　に衛生其他の注意は看護婦が絶えず參殿して聊かも手落ち無き樣に勉め居れりと仄に承はる（東京）

舞樂、御能、鴨獵の御催

露國使節殿下お欵待の御準備

露國皇帝御名代ジョーヂ、ミハイロウイッチ大公殿下十二日東京驛御著に對し我皇室に於かせられては過般來宮內省式部職此れが中心となり徹宵其の準備に著手中なるが其の

■驩迎の標準は

萬事我が同盟國の英國皇族アーサーコンノート殿下御來朝の時と同一方法を執り最善誠意の驩迎をなさる予定なり即ち同殿下御來朝の際は我　天皇陛下には新橋驛まで御出迎への行幸に則り今回も太公殿下東京驛御著の時鳳輦を東京驛に進められ親しく御出迎の御事あらせらる同時に畏き邊りにては同殿下御乘用の爲めに金色燦然たる儀裝馬車を東京驛に差廻され同殿下を迎へらるゝことゝなるが此の

■御馬車に同乘

せらるゝ我が皇族は未だ公然の御沙汰あらせられざるも多分閑院宮殿下其の任に當らるべく太公殿下には當日順路御旅館に充てられたる霞ケ關離宮に赴かれ同離宮に於て一旦御旅裝を解き給ひ改めて參內親しく天顏に咫尺して本國皇帝の勅命に依り御祝辭を言上せらるゝことゝなるべし參內の時は是れ亦た我が儀裝馬車を同離宮に差廻され迎引式部官陪乘し儀仗兵警衛の裡に登らるゝことゝなるべし而して

■殿下の御旅情

を慰めん爲めに宮中に於ては盛大なる御宴會も催さるべく又た舞樂や御能其の他鴨獵等種々の御催しもあるべけれど其は同殿下の御希望に任せ決して強ふるが如きことはあらざる筈なり而も今回の御來朝は約二週間といふ極めて短時日の御滯在にしあれば可成的同殿下の御自由なる御希望に副ふ如く驩迎すべきとは却つて國賓を御優遇申上ぐる最善の方法たるべしと專ら其の方針にて準備を進めつゝありと

袁總統卒倒說に就て

平素の不攝生＝雲南事件　最近北京よりの歸客談

袁總統卒倒說に對し最近袁總統に面謁し歸朝せる某氏談に據れば袁總統は本年五十九歲の老齡にして元來餘り壯健の方にあらざるにも係らず體量は二十何貫を算ふる程の肥滿者なるがこは徒らに肥滿せるものにて時々持病の神經衰弱に惱され居れり近來雲南其の他の叛亂に過勞の結果平素の不攝生が累ひして事茲に至りたるならんも差したることなかるべしと信ず國の亂れんとする時不祥の

流言蜚語を流布せらるゝは有り勝のことにて昨日の獨帝危篤の報も流言に終れると同樣袁氏の卒倒說もこの種の流言にあらざるなきか（東京特電）

謠ひ初めの六百人

初春は賑ふ京城の謠曲界

仕舞こ袴能＝女流の謠ひ手

京城に於ける謠曲の流行は實に素晴しい位だ、就中中流階級以上の方面に多數を占めてゐる　京城で謠曲の趣味が一般に理解されて來たのは三四年前からだが盛んになり出したのは漸く此の一二年、即ち一昨年の終りから昨年にかけてである、昨年邊りから仕舞や袴能さへ試むるに至つたのは大した勢といふの外はない、これが進んで能狂言の流行となり

■能舞臺の建設□

などの好者の間に企てられるのも敢て遠い事ではあるまいとも思はれる

目下京城市中に門戸を張つて師匠の看板を揭げてゐる人は十人近くある流派からいふとどうしても觀世が第一で次ぎが寶生、喜多といふ順である、諸會の如きも觀世流では松齡會、松風會、樂謠會、觀世會京城支部、寶生流では鶴翼會、松雪會、喜多流では喜多會支部などがある、此等の會では大抵月並會を開いて居り觀世流の四會の如きは春秋の二期に於て大會を開いて公開的にやつてゐるが睢內輪的に月々素謠會などを催してゐる會もある、十人近くの師匠は尠なくも二三十人多い人になると六七十人のお弟子のあるのもあるさうだ、師匠連の話によると京城に謠の出來る人がザツと六百人ばかりある、その內の六分が觀世流で四分が寶生喜多だといふ、金春金剛は個人としては

■多少やる人は□

あるかも知れぬが教授所はない、此の內女流の謠ひ手は今稽古最中の人が二十人近くあり立派に謠へる人が五十人からある、その內數年來續けてやつて居つて今ではドシ／＼會にも出るし何所へ押出しても恥かしくない謠ひ手は松寺檢事正夫人村上李王職事務官夫人佐々木龍山鐵道病院長夫人等が第一流で少しく落ちたところでは安住辯護士夫人、倉我總督府事務官夫人、草場總務總監部通譯官夫人、國枝總督府技師夫人、柴崎中學校長夫人であるが　尚ほ隱れたる謠ひ手は大分ある模樣である　近頭之等の夫人連その他の女流のうちで仕舞の稽古に志す者も可なりある樣になつた、謠曲界のために甚だ悦ぶべき傾向と謂はねばならぬ、翻へつて男子の方はと見れば暗夜の星の如く火星金星いづれをいづれと申し上げ兼ねるお歷々が

■眼に餘る程に□

澤山居る、その中で稍素人離れのしてゐるのは安住太郎氏、安藤參事山岡元一氏だらうとの事である、次ぎに異彩を放つて居るのは李王職事務官の金東完氏だ、朝鮮人で謠ひに趣味を有つといふ事が已に奇拔なところへ熱心と練習の効といふものは恐ろしいもので却つていゝ加減な內地人より餘程確な技倆を有してゐる　鮮人間に謠ひの趣味を說いて廻る第一人だとの事である、今年は謠開明第一の新年丈に各會でも餘程油が乘つて來て新年早々謠ひ初めが各所に行はれた樣だ、隨つて本年の斯界は更に一層の隆盛を見る事だらうと思はれる祝すべき事である

支那特派使節＝御即位祝賀の爲め來朝すべき　農商總長周自齊氏　外交部秘書施履本氏

九重に聞え上ぐる民の聲

時は大典後の春、詠進歌二萬餘首

宮中の新年御歌始めは御差支さへ起らねば多分例年の通り來る十八日に行はれる事になつて居る六日の調べによると本年集まつた歌の數は二萬千餘首で內地は勿論米國の居留民からのもある相な、長さ一間幅四尺の大柳行李にぎつしり詰めて何個もあると云ふ、其の取調べは出入禁止の一室で御歌所の各寄人及び錄事諸氏の手で目下玉と丸と石と鐵と位に

▲大體の選り分け　が行はれつゝあるいつも選式は多いが本年も總數の約五分の二位に上つたとの事である例年は聖上の御製と相刻んで必ず　皇后陛下の御歌を公にせらるゝ嘉例であるが青山御所の某御近侍に伺つて見ると本年は猶御籠り中であらせらるゝから殘念ながら多分拜誦する事は叶ふまいとの事である、猶目下は暗番號を附した詠草によりて豫備選中でいよ／＼の決定までは

▲再三銓考審議　を重ねるのであるから十五六日頃でなくては決定には至らぬ見込である、最も趣味のあるのは諸方から御歌所へ到著した封のまゝを一見した光景である、其の宛名の詳しいのと詳しくないのと例へば宮內省と唯三字書つばなしのもあれば市區町名迄もコテ／＼と大字で書いたのもあり、省の字を雀と書き違へたのや見當違ひの式部職雅樂御中なぞと記したのもあり其の筆蹟の優劣巧拙は勿論の事、行書、楷書、草書の走り書き等千差萬別、愛國婦人會の樣な婦人向きの團體ので

▲澤山に一纏め　にした大きな封や、細く短册そのまゝの樣なのや更に甚しいのは何百人分として小包樣のもある、何にしても題は國に寄するの祝ひ、時は御大典後の春御歌所の長官は歌道一方の宗家たる冷泉家の正嫡入江爲守子なり今年の御歌始めの豫選こそは眞に民の聲民の心其儘が聞かるゝ事であらう

露貨鑄造

大阪造幣局にて

大阪造幣局にて露國銀貨千五百萬留の鑄造を引受けたり

神の使と稱し女を犯す

强姦、脅迫放火强姦致傷脅迫取財等少なからぬ罪科を一身に背負ひ海州地方法院にて

▲十年の懲役　を言ひ渡されしも不服を唱へ平壤に控訴し來れる黃海道鳳山郡楚臥面大洞李聖一（三八）と云ふは恐喝取財の前科者なるが常に自分は神の使ひなりと稱し妖言を放ち神力を有するものゝ如く見せかけ各地を徘徊する內昨年五月廿日より六月十二日迄平山郡文武面東三里李振遠方に滯在中家人に向ひ例の妖言を吐いて一同の迷信に乘じ己の意に從はざれば直に神罰を受けやう見せかけ振遠長男の妻崔松洞が病氣にて內房に臥床中投藥をしてやると稱し其寢室に入り藥を服しめて直に病中の同女に姦淫を挑み拒めば神通力にて殺害すべしと脅迫せしも若き同女が首を左右に振つて抵抗するより野獸の如き聖一は暴力にて目的を遂げ六月十二日には崔松洞の外出せる後方を追ひ約一里を距る滅惡山にて同じ兇行をなし十一日には振遠の住家を放火して燒き自分は火災を前知せるよう思はせんと當日午前中振遠方を外出する際爪らしく火災の前兆あれば用水等の準備をなし置くが良からんと云ひ密かに牛舍の藁屋根に二尺位の火繩を入れ逃に其れより發火せしめて

▲住家を半燒　にさせ越へて六月十六日より廿一日迄に平山郡新岩面士洞李聖燁方に滯在中十九日同人方の人口調査（授福の祈り）をなすべければ家人は悉く外出すべしと尤もらしく申し開け何れも門外に去らしめ聖燁の妻朴氏より著手すべしと同女を一室內に連れ込み例によつて非行を遂げたるなりと

石で撃殺す

一圓の貸借爭論から

僅々一圓の貸借より爭論を初め殺人罪を犯せる事件は平北雲山郡城面延峯里白敬中（三八）昨年陰十月十二日同郡北鎭面鎭洞に於て張賢德なる者より翌日返濟の約にて金一圓を借り乍ら其の當日に至るも該金を返濟せざりし爲め同人より嚴しく督促を受けしも支拂ひの途なきに敬中は他にて調金の上返金すべしと申譯けをなし結局賢德は敬中に先立ち北鎭を出發して歸途に就きたり然るに一方敬中は北鎭にて何等金策をなさず間もなく北鎭を出發して同所を南に距る一里の地點に至り賢德に追ひ付きたるに賢德は敬中に對し更に返金の督促を矢釜しくなし双方口論をなしつゝ竹岱嶺の坂路八合目に差蒐るや賢德は一層激語粗暴の態度にて敬中を罵倒せしより根が一圓の事なれば敬中も憤慨の極路傍に有り合はせたる石塊を拾ひとり矢庭に賢德の頭部を數回強打し數箇所の創傷を負はし頭蓋骨を破り腦實質を露出せしめ遂に死に至らしめしが捕へられて審服

二十三日新義州支廳にて懲役五年を宣告されしも不服にて平壤に控訴し來れり（平壤）

列車に觸る

京城明治町二丁目京城床の雁入元某（二七）は八日夜永登浦鐵道線路附近にて汽車に觸れて左手及び頭部等に負傷し地上に打倒れ居るを巡邏中の線路工夫が發見し永登浦署へ屆出官出張救助の上手當を加へやりし爲め絕命するに至らず九日朝京城床より家人永登浦署に出頭して同人の身柄を受取りたり

■八日より新寫眞■
新派悲劇　花あやめ■
泰西奇談　氷山の家■
名譜　吃又平　仇討■
本町一丁目　有樂館

馬賊を斃す

六日午前八時掬鹿大街巡視中なりし我警官は擧動怪しき二名の支那人を認め誰何したるに內一名は懷中より短銃を出し發砲しつゝ逃亡したるに依り他の一名を取押へんとせしに又短銃を發せしも幸に中らざりしを以て警官は之に應射したるに彈は賊の頭部をつらぬきて之を即死せしめたりと（奉天電）

お正月には何より第一に寫眞をおとりなさい
京城寫眞館　電話一〇四〇番、一三四九番

元山遊廓出火

九日午前七時元山遊廓より出火し六戶燒失し消防夫一名負傷せり（元山特電）

十六錢の無錢飲食

八日午後六時半頃京城市內某飲食店にて十六錢の無錢飲食をなしたる大阪東區谷町生れ住所不定北川清兵衛（三〇）は本町署に引致せらる

●來たれ!!!

歲改まると共に更に活動發展の用意として最も堅實なる店員を求む

希望者は左記承知本人來談の事

一、少年者は十五六歲位小學卒業將來織物業に志すもの
一、青年者は商業（可成織物業）に經驗あるもの右何れも容貌端正確實なる保證人を有するもの

一月　ちゝぶや　京城本町二丁目　大連浪花町二丁目

精神病者徘徊

八日午後十二時頃京城南大門通二丁目路上を年齡二十二三位の氏名不詳の鮮人男一名徘徊し居るを巡廻中の本町署警官が認め取調べしに此者は精神病者と知れ本署に連行して保護を與へたり

護國寺の寒行

旭町三丁目護國寺に於ては七日より來月四日まで三十日間每夜午後七時より希望者には祈禱約授するよし

朝使へば一日中顏色を活々と美しく保つ新式化粧液！

美顏ユーマー

學者の創製したる新式濃厚化粧液

容色の善惡はうまれつきで

僞樣の無いものか、美しくなることいふやうな事は、實際に出來る事なのだらうかとは、婦人方は固より男子方の間にも、疑問の種こなつてゐるやうですが、併し出出しの女中さんでも都合で長く奉公してゐる中には

次第に見違へるほど綺麗に

なる所を見ますこ、誰にしても手入の工合によつては美しくなれる筈では御在ませんか。唯問題は然う氣長でなく一飛に美しく成度いが其は出來ぬかこいふ事に成ます

是は人情然るべき要求です

から何こかして其御要求を充し度いものこ、桃谷研究試驗部の學者は先年來熱心に研究を始め、此頃になつて漸う完成したのが此美顏ユーマーです。此品は最初から學者の目的こした通り

朝使へば一日中顏色を活々と

美しく保つこいふ、從來の化粧料に無い、全く新規な作用を有つてゐるばかりでなく、膚の荒を防ぎ肌理を美くする力が強く、使へば使ふ程素顏を美しくし、白粉の溶水や白粉下や白粉おさへとして一際優れてお化粧を艶やかに美しくし、且は男子方のかくし化粧にも適し、殊に前言つた朝使へば一日中顏色を活々こ美しく保つこいふ點では、お誂へ通り

一飛に美しく見せ度い方々

には此上ない品です。見た所美顏ユーマーは乳白の濃厚化粧液ですが、併し從來の濃厚化粧料こ同樣に思召したら大違です。一度お試しになれば直ぐお分りになる通り

從來の濃厚化粧料と違つて

今回桃谷研究試驗部で發見した或全く新規な粘液美容素を土臺にしたればこそ、漸く美容上にも全く新しい作用のある品が出來たのです。現に各宮家御用美顏術大家マリールウキズ孃は、宮家を始め、東京の華族方の御家庭に召された際、美顏ユーマーを美顏術に應用して立派な効果を得て非常に喜ばれ、是は全く珍しい品であるこて引續き用ひて居られるのを見ても此品の効果の確かな事がお分りになりませう。定價は一瓶金二十錢お試しになつて決して御損のない事を斷言致します。各化粧品小間物店等に賣つて居ります。

不思議な効果ある美顏ユーマーを創製したる　桃谷研究試驗部

顧問　▲丹波醫學博士　▲山本醫學博士
主任　▲桃谷藥學士　▲小倉藥學士　▲齋藤藥學士

數萬圓の利益

雀害を除く爲めに各兵日を定めて火縄銃をビン／＼發砲して……常な者で到底普通の驅除法では被害を免れる事は出來ない爲め平南道廳……萬羽以上に達した相である……一年を通じて一羽十錢……て被害も之れに伴ふて……

●連絡船上陸客　七日午前入……

七日午後入港……二等客……

天氣　北西の風晴　一月十日

朝鮮の田野は到る處[illegible]しくて此れが爲めに一面一洞の粟作や米作は悉く暴らされて收穫皆無の惡目を見る事が珍しくない內地では
は雀群に襲はれても只々[illegible]叫び立てるのみであるから大した豫防にもならない樣に雀の繁殖力は非
年の如きも四月以降各郡で驅除した雀は實に六十三[illegible]が二倍の繁殖力があるとすると翌年は百八十九萬羽に達し
の效果は[illegible]意しない事業に此れ丈けの成績を舉げ得た事は[illegible]か驚嘆に値するではな

▲解警戒(一月九日午前十時仁川觀測所發)
▲中部及び北部の警戒を解く

クラブ本店化學研究部新發明

英國藥學者スミス氏と日本の藥學者數名の研究で出來た

生地の色までも白くかふる

附て高尚で非常に美しく洗つた後も不思議に

最新式のクラブ白粉と

御大典記念 新發明白粉

クラブ 美の素白粉

今回新發明のクラブ獨特の美身劑を配合せる此クラブ美の素白粉は

ノリも……ノビも……芳香も……光澤も

他の白粉には絶對に眞似の出來ぬ特長を有つて居ます

他の白粉には絶對に眞似の出來ない クラブ美の素白粉とクラブ白粉の特長

他の白粉には眞似の出來ぬクラブ白粉クラブ美の素白粉の特長

【第一に】クラブ美の素白粉並にクラブ白粉はクラブ本店化學研究部で最近發明しましたクラブ獨特の美身劑が配合してありますから附けた時に高尚で美しい艶が出るばかりでなく洗つた後の生地の色までも白く美しくなるといふ實に不思議な作用を有つて居ります

【第二と第三に】クラブ美の素白粉並にクラブ白粉は從來一番色が白いと謂はれてゐた白粉よりも一層色が白く又從來一番光澤があると謂はれてゐた白粉よりも一層美しい光澤があつて如何にも地肌の自然から出た白さ美しさを現します

【第四と第五に】クラブ美の素白粉並にクラブ白粉は分子が極めて細かいので從來一番ノリとノビが良いと謂はれてゐた白粉よりも一層ノリもノビも宜しく殊にお化粧の持が良くて永くお化粧の崩れないことは他の如何なる白粉にも優つて居ります

【第六に】クラブ美の素白粉並にクラブ白粉は絶對に肌を荒らす恐れがないのみならず其の原料中にはクラブ本店獨特の有效美身劑が配合してありますからお使ひになればなる程愈々益々皮膚の色艶が美しくなり肌理が細かくスベ〳〵して參ります

【第七に】クラブ美の素白粉並にクラブ白粉は嚴密な學者の試驗を經た絶對無鉛の純良白粉で其の品質の優秀なことは他の如何なる白粉に比べてもズット一頭地を拔いて居ります

クラブ白粉本店技師英人 ピー、エル、スミス氏

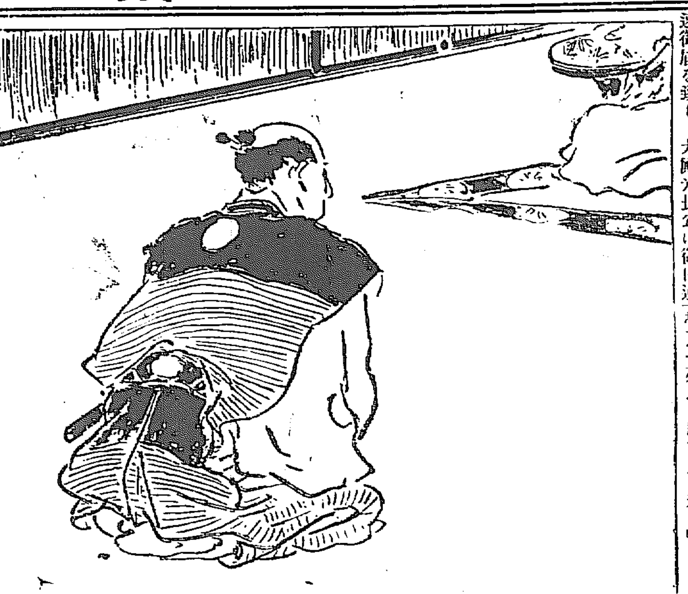
ピー、エル、スミス氏は倫敦藥學校の出身にしてエメンバー、オブ、ファマシユチカル、ソサイチーの英國學位を有し明治四十四年以來今日に至るまで我がクラブ本店技師としてクラブ各種化粧品の發明に苦心し本邦化粧品界に一大光彩を放ちつゝある有名なる藥學者なり

越後大評定

第九十五席　早川貞水口演

關根彌二郎の立退

そこで御國表忠臣の人々、集つて評議に及び、愈々一大事出來いたした、何人か江戸表大殿、越後守光長公に對し、御異見申上げ、更に御近親の御方を以て御世嗣に願はなければならぬとなると、大忠臣大隈帶刀が『然らば此方が江戸表大殿様へ御目に掛り御異見申上げるで御座らう』と申出ましたから、一同の者も『イヤもう御出府下されば、大丈夫で御座る、何分ともに御苦勞ながら、宜しく願ひ上げる』と評議一決致しました、そこで帶刀江戸表へ到着、早速御届を致し、大殿光長公に御目通



り　帶『麗はしき體を拜し、恐悦至極に存じ奉る　光『帶刀、遠路の道中、大儀に存ずる　帶『有り難き仰せに候、さて此度帶刀、俄に出府仕りましたるは、恐れながら御家御家督の儀に付き、臣等一同より申上げ度儀これあり、拙者一同に代つて言上いたしたく、何卒暫時御人拂ひを願はしう　光『ア左様か……コレ皆の者、遠慮致せ』と一同の御近侍を退け　光『何事なるか　帶『恐れながら先頃下野守様の御逝去、誠に夢の如くにして、上も定めし御落膽の事と存じ奉り、一同に於ても愁傷罷り在る次第に御座います　光『イヤ綱方逝去に付ては、定まる壽命とは申しながら、掌の中の玉を失ひたるやうに思はるゝぞ』　帶『御道理至極に存じ奉り、其事に付き、先頃小栗美作殿、江戸表にて御上へ願ひ上げ、一子大六を以て、越後家の御家督、御許しに相成りし由にて、御國表に於て臣下一同を集め御相談相成りし所、恐れながら誰一人、御同意申上げる者これなく、萬一御縁の遠き大六殿を以て越後家御相續と御決定在せられなば其こそ由々しき大事と存じ奉る、御順當ならば、御血統の最も近き、永見市正様御子萬徳丸様こそ、御世嗣に立たせらるべきが道かと存じ奉る、萬徳丸様ならば、御家は萬々歳にて、御家中一同有り難く存じ奉る、能く／＼御思慮あらせられて、江戸家老一同へも、篤と御沙汰下されたく、帶刀一死以て願ひ上げ奉る』と申上げると　光『成程道理の儀である、然らば國表老臣に於ても、皆其萬徳丸を以て當家の相續同意と申すのか、　帶『御意に御座いまする、此御方を以て御立て下さらば、老臣はじめ下一同に至るまで有り難く存じ奉る　光『左様か、然らば江戸表老臣にも篤と申聞けるであらう』と仰せられた、小栗が十分大殿様を手に入れ、一子大六を越後家の世嗣にしようと計つた位だから、なか／＼尋常なことでは、御聽濟みがなからうと思ひの外、案ずるより産むが易く、早速の御承諾、帶刀殿心中意外に心得ました、そこで二三御話を申上げ、御國表御領分の状況等を言上して、御前を退り、休息して居ると、翌朝江戸家老を御前に召させられ『永見市正一子、萬徳丸を以て養子にするが如何』と仰せられた時に、江戸家老一同も『誠に以て御道理至極、その儀然るべく存じ奉る、萬徳丸様ならば、誰か一人不服を申上ぐべき、臣下擧つて悦服仕るは、申上ぐる迄もないと存じます』

入院隨意（診療夜九時迄）

泌尿器病　腎臓病　膀胱病　淋病　梅毒　痔瘻　皮膚病　専問

永樂町二丁目　金光教會隣り　安部醫院　電話四一九番

一月十一日九星　舊十二月七日丁未　本命八白　艮　破　赤口

▲八白 勝てば隆盛の事有日 新事見合東方は吉 ▲九紫 もふけ口を得る日 轉居入學今 [illegible]

ごもり　患者福音

嗚呼世に憐むべきは吃音の疾患なり如何なる有望者にても吃音の爲め自分の吃音を秘さんため人と對話するを厭ふ故に益々發音不自由となりため成功を遂する事あり世に衰れたる者澤山あれども五體全部強健でありながら單に言語がどもると云ふのみで人の後に立たねばならぬ此の不愉快極まる不利益な地位に立たねばならん吃音患者の爲に本院は組々研究の結果一の有効なる藥物を發見し同患者に分たんとす希望者は速かに武錢切手封入東京市外西大久保東京吃音藥院宛御申込あれば自宅療法説明書を進呈す一日遅れゝば一日の損あり思ひ立つた時に治療して活社會の成功者となられよ。

クスリはホシ　製劑四十余種各藥店にあり　東京京橋　星製藥株式會社

瀬戸皮膚科外科醫院　旭町二丁目（舊三丁目）　醫學士　瀬戸潔　（電話二四九八番）　診察夜九時まで

演藝案内

壽座　本町　電話五七八　大序より寺小屋まで　日蓮記及び皿なる役割左の如し　前狂言　菅原傳授手習鑑　切狂言　紙屋治兵衛河庄の段 [illegible]

壽館　本町　電話一〇五〇　義太夫竹本團昇大一座　九日目語り物　御祝儀寶入船（入登）伊賀越二段目（昇緑）忠臣藏三段目（越春）岸の姫松三段目（彌若）明がらす山名屋の段（昇柳）三勝半七酒屋の段（長茂）御所櫻三段目（本年六歳君子）天網島紙屋內の段（團昇）大切朝がほ日記宿屋だん（樂屋惣掛合）　割引券御持參の御方は各等半額

浪花館　明治町　電話二六〇番　東京落語三遊派幹部一行 [illegible]

御成座　御成町　電話二九一　十日目藝題　小山孤舟氏作　悲劇　湖畔の家　全三幕　喜劇　夢の浮橋 [illegible]

大正館　本町　電話八七三番 [illegible]

黄金館　黄金町四丁目　電話二六三七 [illegible]　探偵活劇　呪の九時 [illegible]

有樂館　本町一丁目　電話二六六 [illegible]

代用純金指輪　本品は純金同樣にて金色現今普通に用ゐる爲め廣告の爲め男女用一個壹圓以上 [illegible]　大阪 [illegible] 日野同商店

ミツワ石鹸

凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。

皮脂の分泌量多くして而かも粗慥なる本邦人の皮膚、及漆黒を貴ぶ毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論すべからず。

○ミツワ石鹸は化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性状を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。

一、温雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし

即ち一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する理想的實用石鹸なり。

▲賣捌＝全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼

擔任技師　工學士　藤野太治郎　工學士　越智圭一郎

（現品實寫圖）

本舗　ミツワ石鹸　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元　東京市日本橋區橋町四丁目　藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋　登録商標　○　丸見屋商店　電信略號○ミヤ　振替口座東京七一〇番　營業部電話特長浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

汽車 [illegible]

京城日報

十日朝刊 (第二千九百五十九號)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢(郵送料共)
廣告料 五號活字一行金七拾錢
發行所 太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 (編輯局)二四番 (營業局)三八番 (工場)六六番 振替貯金口座京城一〇〇番

總督の諭告と吾人の覺悟(續)

今昔の變遷

總督政治開始以來今日に至るまで朝鮮經營の進歩に著目し來りたるものは、如何にそが長足の進歩を爲したるかを看取するに難からずと雖も何人にも之を具體的に會得せしめたるものは、昨秋開催せられたる始政五年記念朝鮮物産共進會なりとす。該共進會は朝鮮刻下の進境を說明するに於て、千萬言に勝るの實物を示したるものにして、如何に頑迷無智の人たりと雖も、最早今日に於ては總督政治の實効を掩ふ能はざる可し寺内總督が始政五年記念朝鮮物産共進會に依り全般の實積を總覽し有形無形の施設を通じて改善進歩の迹顯る顯著なるものあるを認めたりといへるは、其言謙遜に過ぎたりと雖も、自ら重大なる責任を盡し得て幾分滿足の意を窺ひ知るを得可し。吾人は總督の成功を祝すると同時に國家の爲めに此盛運を賀し、朝鮮千五百萬の同胞と共に其慶を共にするを喜むで止まざるものなり

二 將來の大勢

然れども、凡そ逆境に處しては自ら奮勵し、順境に移りては放逸驕慢に流るゝは人情の常なり。今や上に誅求の虞なく、下に火賊強奪の患なき而已ならず、司直治安の施設亦完備して生命財産の安固は確實に保證せられ、道路、鐵道、郵便、電信、港灣、海運の便全く開け、各種の事業勃興すると共に人民の生活上益々餘裕を生ずるに至り、朝鮮に於ては古來未曾有なる昌平の聖世に遇ひたるものといふ可く、從つて人心漸く倦怠に傾き、財用餘りあつて自ら奢侈の氣風を馴致し、人々安逸を思ふに至らば、折角長足の進歩を爲し來りたる諸般の事業は、假令頓挫を見るに至らずとも其進捗を遲鈍ならしむるの虞なきを保せず、斯の如きは一人一家の事業に於ても最も戒む可き處たり、況むや新版圖の開發に於てをや、寺内總督が毎に勤勉力行の氣風を鼓吹して止まざるは、決して一時の奮勉を促がすの意にあらず、各自其本來の任務職業に盡瘁し、終始一貫、須臾も渝らざらむことを望むといへるは誠に適切の戒告にして、吾人の拳々服膺して忘る可からざる處なり

此戒告たるや、總督は官民の何れを問はず注意せる故に、素より官民相一致戮力して國利を圖り民福を進むるは言を俟たざる處なるも官職に在る人々に於ては自ら總督の督勵に接するの機會多く、又其職責上常に拮据黽勉止まざる可きは當然のことなりと雖も、一般人民側に在りては單に各自不斷の覺悟に待つの外、直接監督を受くるの機會尠きを以て、驕慢の心を矯むるに於て更に一層の戒心を要す可し。殊に朝鮮人中、下流の人民は由來持久力に乏しく、何事にも作輟止まざるの弊ありて、一日勞働せば二日の安逸を貪る者の如きは敢て珍しとせざる處なり。されば總督が勤勉貯蓄を獎勵する主旨は、斯かる弊風を矯正して毎に勉めて止まざる習慣を涵養せしめ、永く今日の恩澤に浴せしむるのみならず、今日の現狀に甘せずして更に一層の進歩を促さむとするに在り、之れ蓋し總督の特に憂慮措かざる處にして若し其れ刻下の進度に滿足して、心驕り氣緩むが如きことあらむか既成の効果を空うするは勿論、遂に將來の大成を期するに由なからむとす、豈戒めざる可けむやとの箴言を加へたる所以なる可し

放浪漫記

大谷光瑞

南京滯在三日、全部雨の爲閉居の外無之、甚遺憾に御座候。殊に御大典慶賀を目前に見る故、天候を憂ふる事甚しく、小生も時々天を仰ぎて豫想致居候得共、密雲容襟、四望模糊として辨じ難く、加ふるに風力微弱にして低氣壓の運動頗る遲緩なる如く、容易に回復せず。特に此季節に於ては、我邦の天候は殆ど八九割は、揚子江流域の影響を蒙るを以て、當地方の天候は、三四十時間前後に於て、京阪神地方に現出すべく、御大禮に際し、良天候たらんとは、萬民の渴望する所なるを以て、特に焦慮致候得共、上海に非ざれば豫報を得難く、當地方には唯風力雲行雲狀を以て、豫想を下す外方法之なく、然るに風力は殆んど靜穩にして、雲行雲狀は、雨雲四塞の爲め、目睹する能はず、高橋領事と共に苦心焦慮致居候外、良策も發見致さず、幸八日午前十時頃より微弱ながら風力北轉し、午後二時に至り雲狀に濃淡を見、稍や雲行を辨ずるを得。然れども上層下層共雲行錯雜亂走し、十二分に天候回復と斷言する能はず。晩來漸く霽明に赴く豫兆を見、始めて安心を致候。然れどもこの惡天候は、遺憾ながら九日の午後までは、京都に於て免れざるべしと雖も、御大典當日は幸に晴明ならんと欣喜致候。九日早朝領事館を辭し、太平府に向ひ申候、太平府は古より當塗と稱し、東晋南朝の時は城南の勝區として、文人騷客の吟詠頗る多く、風光明媚の地に御座候。江を距る七里なるを以て、現時の大汽船の上下に寄港する能はざるにより、稍や上流の蕪湖の繁昌を來し太平府の名を知る人罕なり。南京よりは小汽船により、溯航六時間にして到達致候。革命以前は太平府當塗縣と稱せしが、今日は府號を廢し單に當塗縣と稱せり。然れども一般人民は猶ほ太平府と稱せり。縣城に至る二十支那里、下流に采石磯と名づくる地あり。小阜江に臨み、岩壁立し江水脚を嚙めり。此の地古より頗る險要を以て稱せられ、南京王都の陷落せしは、多く北兵の此地より渡江せしによる。蓋し南京の對岸浦口、江浦等の邊に對する防備は、完全なりしなるべく、石頭城の守備十分なる時は、容易に渡江を許さず、故に侵入軍は勢ひ左行南側に渡江點を求めざる可からず。然れば北東に於て京口(今の鎭江)と、南西に於て采石磯を渡江點となせしが如し。然れども南者の中、多く采石より渡江せり。此の地點に既に北兵を防ぐ能はざらんか、鐵騎殺到し、城南一帶、父南人の有に非ず。雨花臺等の丘阜を以て、最後の防禦線とし、奮戰するも、大勢利あらず、城の陷落免れざる者の如し。然れども南京の地たるや、丘山四周し、守るに便にして、攻むるに難し。故に小弱兵たるも、餘端を數十年保ち得べし。最近第二次革命の時、容易に陷落せる如きは、地既に備なく、人既に鬪志なし。城地の罪に非ざるなり(十一月十三日蕪湖にて)

支那の鐵道(六)

東清鐵道

千八百九十五年即ち我が明治二十八年に露國現皇帝陛下は戴冠の盛式を擧げられたり。此時清國より特使として參列の榮を擔ひしは李鴻章なりしが、而して李鴻章が露國を訪問したる結果露支兩國間に密接なる默契成れり。李鴻章は其時を以て露國政府との間にカシニー協約なるものを締結したりと世に傳へられき。而かも其の內容に至りては今日尙模糊として明かならず、然れども次の二個の重要なる事件は少くとも此のカシニー協約の結果現はれたるものと想像し得べし。重要事件とは何ぞや曰く、(一)露清銀行の成立(二)西伯利鐵道をして滿洲を橫ぎり浦鹽斯德まで延長せしむることを支那政府が許諾せし事之れなり。露清銀行は一八九五年十二月露國政府の對支政策の下に設立せられ、露國政府は同銀行を以て一面には露國と東亞の間に於ける通商貿易の進捗を計るの機關となし、一面に於ては清國に對して露國の勢力を擴張するの機關となせり。同銀行は設立後間もなく清國政府と協約の下に東清鐵道敷設の特權を獲得し、引續いて東清鐵道會社を設立せり。東清鐵道は最初の計畫によれば、露支兩國の資本を以て敷設せらるべかりしも、支那に資本なく、又投資する程に株式會社に信賴を置くものなきが故に、露國は支那に向つて東清線敷設の提案をなせる時、此線路が事實上露國の鐵道となるべきを豫知したりき。此の鐵道に對し、支那は三十六箇年後には線路を買戾すの權利を保有し、八十年後には何等の代價を支拂はずして絕對に此線路の所有權を引繼ぐの權利を保留したり、露國が東清線の敷設に取掛りし時偶ま山東省に獨逸宣敎師遭難事件起り、獨支間の交涉問題は驟て露國をして豫定よりも迅速に東清線計畫を進捗せしむるの動機となり一九〇三年(明治三十六年)に全線の開通を見たり。東清鐵道現在の線路は滿洲里より哈爾賓を經て綏芬河に至るもの及び哈爾賓より岐れて長春(一寬城子)に至るものを幹線とし、昂々溪齊々哈爾間を枝線とす。滿洲里綏芬河間九百二十六哩、哈爾賓長春間百五十二哩、昂々溪齊々哈爾間十七哩なり。而して幹線は東清鐵道會社の經營するところなるも、枝線は黑龍江省官辦たり。

支那の現狀

新春早々支那より歸來せし小田切正金銀行重役の談話左の如し(大阪毎日)

△四鄭鐵道借欵 は尠なからぬ苦心の裡に今回愈々支那政府と正金銀行との間に成立した是れで四平街と鄭家屯間の交通機關は成立する譯だ借欵額即ち鐵道の資金は五百萬圓で支那は日本に於て公債を募集するのであるが第一募債が速に運ばれぬ時は正金銀行に於て一時取替へても可成早く達成したい方針である、目下の問題は支那政府に於て一日も早く統一に基く鐵道技術員を任命して其具體的準備に入るのみだ工事の設計其他は多分來年六月までには竣ひ汽車の開通は大正六年の春頃になるだらう本年七月以來の交涉と言へば隨分永いやうだかナア此處まで押つけたら成功だらう近來支那人の日本人に對する態度は頗る親善で日本人も始めて赤誠を披瀝して從來の如き一時的に獲利して後足で砂を蹴る如き亂暴は遣らぬやうに爲つた此の意味に於て正金銀行は極力日支經濟關係の親善を期して居る鄭四線の如きも全く兩者和合の賜であるが更に言へば本線の成否は日支經濟關係の親疎興廢を賭つた試金石である自分は此の覺悟で交涉に當つた自分は三十一年間支那の土地に住んで聊か彼我の性情に通じてゐるから比較的好果を收め得たのだ、日本人にも隨分不誠實な行動をして日本の信用を失した實例があるが諸君は此處に留意して永遠に經濟的親交を續けたい覺悟である、鐵道借款は斯る精神的基礎の成立に伴ひ締結されたのである

△滿鐵との關係 世人は鄭四鐵道と滿鐵との關係を云爲し或は滿鐵の經營になるとか或は公債は滿鐵が發行するとか或は支那政府と正金銀行との間に立つて活動してゐるとか言つてゐるが斯は大なる誤聞で四鄭線と滿鐵とは全然何等の關係はない固より鐵道敷設上密接なる關係を生じ竣成後は交通上殆んど唇齒の如き關係を持つ譯であつて鄭四線は偏に滿鐵の援助を希ふ次第であるが今日の場合は何等の關係のない事は明かにして置く必要がある別言せば此の鐵道は支那政府の經營に係り正金銀行は其出資者である

△帝政と經濟關係 次に帝政問題であるが自分一個の見を以てすれば帝政の實現は日支經濟關係を促進する上に於て贊成である今や雲南の形勢日に盛んならんとして來たが斯る內亂は早く終息せぬと支那の經濟界産業界に甚大の惡影響を及して延いては日本の損害である雲南の變は或は成功するかも知れぬ今日の狀勢では北部に潛在せる反帝政熱が遙かに之に呼應して其の成功を援けやうとして居るらしく此徒は數箇月間形勢の推移を見て或は雲南革命黨が利と見たら直に反帝政的態度を表明するが若し雲南不利なりと看取した時は即ち帝政黨となる譯で數箇月の間に於ける見物である此の間隙を乘じて經濟關係は何れの道を新たなる光明に接するのである見に忌憚なく言へば袁總統にしろ誰にしろ成功があつて帝王になるのは支那の國民性支那の歷史に鑑み敢て何等の妨げはあるまいと思ふ點に於て自分は帝政の實行を大した罪惡とは思はぬ其處で自分は日支共同の利益を增進せんと欲せば宜しく支那の內治を援護し之を實現せんと欲せば帝政を實施せしむることゝ論斷したい又日支經濟關係を親善ならしめんとするには宜しく至誠を彼に示す可き事所謂正直是最上の政策と言はる、至誠の至る處動かざれば之行らざるなりの眞理はよく此の中の消息を語つて居る自分の多年の經驗に徵し猜疑心強き支那人の信用を得るには只此の誠の一字を以て其秘訣と信ずる

京日詩壇

青島行(乙卯一月二十五日贈湖光客) 淺見素堂

膠州灣外是青島、百尺樓船駕東風、憶昔太公提封地、功利成俗今古同、回首火牛奇策郷、生者端氣吐虹、史有爭鑄山神、那移乾沒凌王公、狡勝據道龍竄窟、王居之門擬蟄龍、日東天字整、直海洋上觀光、客旅。包胸何日掃妖氛、聽想皇威洽山東。

乙卯十一月十日三浪津令井大瑞入今年八十二被賜養老杯喜賦

天恩聞養遁頹杯、三浪津頭瑞色開、兒孫嘶歡欲溫新、封壽福古人題

乙卯十一月奉壽顯谷青山先生周甲

三世名流際盛時、武門氣血孺文辭、舉杯遙獻先生壽、長白山頭雲染旋

日報俳壇

雉子郎選

水鳥

水鳥に寄らし船具運び去る	如泥子
沼尻を壓して山や浮寢鳥	同
水鳥の去るや流るゝ水の音	潮外星
水鳥にも灯あり中洲の家	幽谷
水鳥や港さびれて只厭し	羊兒
水鳥や海邊親しむ病の身	靈巢

冬の蜂

土地賣つて空し鍬や冬の蜂	未知男
冬蜂の飛ばで荒ぶや鉢の菊	空螺

枇杷の花

小大工の木屑持ち去る枇杷の花	三餘
投げし猫立ち落つ枇杷の花	同
干す傘や空定らず枇杷の花	同
枇杷咲くや子守唄なき藁屁	潮外星

保險金受領廣告

一金壹千圓也

被保險人 高本高由

右大正四年六月中日清生命保險株式會社と契約致居候處今回死亡に付頭書の金額正に受領致候間此段江湖へ廣告候也

大正五年一月

受領人 高本チワ

東京藥學會

會員募集 八ヶ月卒業

▼藥劑師となる近道講義錄に限る!! 藥劑師に非ざれば藥業に從事する資格なし藥業志望者は藥劑師となれ
▲講師は試驗委員及藥學士專門大家拾數氏 飯盛教頭 有賀學士 神谷學士 小島學士 村山學士 大河學士 望月學士 稻田學士 福森教授
▲受驗者及通學生の好參考書
▲完結 此際入會者に特典提供
▲見本 郵券貳錢
東京神田表猿樂町廿五

宿醉に煩はさるゝ仕事に苦痛にて御座候哉

今直ぐに

朝鮮總督府 蔘精か高麗人蔘 を召せ

電二七七一へ御呼下され直に御届申候

京城南大門通 朝鮮總督府蔘政局 板倉支店
朝鮮總督府官蔘元賣捌 板倉本店 平壤竹典里

資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟)
諸積立金廿二萬五千貳百圓

株式會社 朝鮮商業銀行

京城南大門通一丁目
電話五五八番・五六八番 振替京城一三四一番

一般銀行業
倉庫業

銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬

南大門支店 電話五四一番 仁川支店 電話八四九番 振替一〇六二番
本町支店 電話七二〇番 振替一五八二番 平澤支店 振替一六〇六番

我國に未だ曾て類なき 新年第一絕好の贈答品 無二の 世界の一大奇書

坪內博士序 杉谷代水先生譯 新譯繪入 アラビヤンナイト 上卷新刊

■論語聖書の次に世界第一等の名高い本アラビヤンナイトを知らぬ者なし■年も昔から廿世紀の今日迄人種の違つた幾億萬人の口に語り傳へて何時迄も面白い物語、人間の空想がどんなものかさびつくりする程不思議な物語■代水氏の新譯は原文よりも美しい文學的飜譯、そして深切丁寧な譯語學的飜譯、英和譯の模範也■彩色の版畫十餘枚殆ど隔頁に菊判より小さき富山房新形裝幀は高雅なるアラビヤ金襴模様、色刷の挿畫綸爛巻物の如し出版界に類例なき美本にして類例なき廉價也

◎挿畫及裝幀小杉未醒、岡本歸一、橋口五葉 三氏

上卷定價金壹圓八拾錢 郵稅內地金十二錢
下卷近刊 各五百頁

東京神田 富山房 振替五〇一番 賣捌全國各地書店

新刊書御案內

書名	著者	定價
明暗 門	夏目漱石	九五
家庭日本歷史	內田銀藏	一、二〇
泰西の繪畫及彫刻	洛陽堂	一、三〇
アラビヤンナイト上卷	杉谷代水譯	一、八〇
山口 傳		一、九〇
社會と道德	井上哲次郎	二、八〇
美術と社會	岩村透	一、二〇
最新式辭と演說	大町桂月	一、一〇
實例諸貸金回收の秘訣	花井卓藏	九〇
家長原薄		一、三〇
芭蕉句集講義	角田竹冷	三八
禪の一夕話	森大狂居士	九五
女の肉的研究	羽太鋭治	九五
落語色くらべ		一、〇〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六番 振替京城二五七三

京日案內

◎普通 一回前金三十錢(無割引) 一回毎に金五錢增
◎募集 有給外事員拾名採用希望者履歷書携帶來談◎京城黃金町(東拓隣) ▲明治公債支部 229
◎要寫眞技師及市內地方外交員募集履歷書携帶あれ 京城大和町一ノ四八朝鮮寫眞通信社 221
◎乳香子預り度し身體强健齡廿六歲乳を澤山有す希望者至急に新町三壹七辻嘉吉內△內田キワ 212
◎番外 一回前金六十錢(無割引) 一回毎に金五錢增
◎溫泉 御保養旁御入湯に是非一度御出下さい諸病にきき手輕な料理稱勉强致します漢江通練兵場前 ●龍山溫泉 (電話三二二番) 228
◎藏働人 至急入用 但し酒業に經驗ある者希望者直接に來談あれ 蓬萊町六七番 三巴 酒造場 (電話壹〇〇番) 226
◎恩給 年金退隱料扶助料長期當分法定利子以內にて無手數契約京城永樂町一丁目前 江州屋 本店 四四商品陳列館 219
◎質 白川質店 京城旭町一ノ卅五 大久保義輔護士宅横 電話六三〇番 ◯銅鐵鉛及中古寫眞機買入 211
◎恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地京城日報社北右に入 國江商會 電話二二八三番 225

○梁啓超雲南に入る

亞細亞日報は梁啓超が既に雲南に入れるを報じ北京官憲も亦其行動を疑ひ各所に照電を發したる由なるが梁は舊臘まで上海の某所に在りたる事慥なり三十一日某氏が訪問したる時梁は近々米國に向つて出發す可しと語れり尚ほ北京政府は梁の率ゆる進歩黨が雲南獨立軍に關係せる者の如く認め世間にても共和黨政府は大總統に岑春煊を推し内務總長に梁啓超、陸軍總長に蔡鍔を推したりとの說あれども確實にあらず唯進歩黨中の少壯急進者が深ぎ同情を寄せつゝあるは爭ひ難き事實なり(上海特電)

○帝政承認運動か

支那遣日特使の使命

周特派大使來朝の目的に對し某外交官は語りて曰く、周特派大使は來る十六日北京を發するに決したりとの說あるも其の筋へは未だ何等の公報なく又た來朝の眞目的那邊に存ずるや未だ詳かならざるも帝政承認運動の任務をも有するこゝ疑ひを容れざるものゝ如く帝政承認の交換として日本の好める利權例へば漢冶萍煤鑛公司を讓與する等に在るべしとの說も亦た一場の風說に非ざるもの、如し然れども我が國は東亞の平和を維持せんとの大目的より帝政延期の勸告をなせしものなれば區々たる利權に誘はれ内亂發生せる際帝政の承認をなすが如きは斷じてなさゞる所なり(東京特電)

○露太公御來朝の使命

多量の兵器註文

歐洲の東部戰場に於て露國が敗衂に及びし主因は想定餘りありて兵器の缺乏せるは事實にして之れが補給が我國に依つて增大せられ延いて戰鬪上新たに活氣を添ゆるに至りしは著しく彼我の親善を加へたる次第なるが露皇帝陛下には深く之を德とし給ひ今回太公殿下を特派せられたる次第なるが聞く處に依れば露國は非常の決心を以て戰鬪に從ふ可く今後一層多量の兵器を註文する由なれば一旦立消えたる兵器民營計畫再燃す可しと(東京特電)

○關門の露太公奉迎盛觀

露國御名代太公殿下には軍艦鹿島にて九日午前八時四十分六連島着假泊の後十一時十五分拔錨關門海峽を通過せられたり此の日朝來風雨なりしも御通過頃より天晴れ好天氣となり殿下には船橋に起たせられ關門の風光を賞せらる關門兩所よりは多數の汽艇を仕立て市長以下各官衙長等多數海上に奉迎送をなす軍艦早鞆を出づる際海上の學生歡呼の聲及び汽艇の一切の汽笛の別辭に對し船橋の殿下には脫帽御會釋を給はりたり六連假泊中記者の聞ける所によれば八日午後釜山發後風波荒かりしも殿下には少しの御疲勞なく早朝御起床頗る御健勝なり内海航海中は擊劍柔道の試合を御覽に入れ十一日午前神戶に到着の筈殿下の御滯在日數は約十四日の御豫定なりと(門司特電)

○日獨戰行賞期

海軍功績調査は其後漸く進捗し膠州灣攻略參加重砲隊航空隊封鎖艦隊等の分は既に賞勳局に廻附したれば近く發表ある可く南遣艦隊内地部隊中央策戰部隊の分は尚ほ銓衡中なれば多少の日子を要す可し結局全部の發表は今週期に入る可しといふ(東京特電)

雜報

○山東隨處勸進

中央政府が一度帝政を公表してより山東省に於ては各邑共月並の所謂勸進の聲を聞かざるなく濟寧、鄆城、齊河、汶上、蓬萊縣、臨清、東阿、寧城、陽穀、恩縣等の各邑が代行立法院政事堂統率辦事處各部院大典籌備處宛協進會、國民請願團總商會に宛て商會、學會或は縣民、保衛團を代表して致せる勸進表には異口同音に我が大總統を中華帝國大皇帝として恭戴したらんには國本固うして以て人心を繫ぐを得ん萬衆一心鼓舞歡呼して之を迎ふ更に即位にして一日遲ければ民心又一日不安なりとて縷々千萬言を費し片言隻語と雖帝政反對の意を表明する者なく又濟陽にては舊臘二十八日官商、學、會發起して君主慶賀會を催し皆門戶に國旗を揭げて敬意を表し城廓、會場に參集する者の夥しく官衙にて宴を張り費用總べて知事之を支辨せる由南方に受けざる帝政も山東省内にては斯の如く表面大持てに持て居る有樣也(靑島)

○本溪湖鐵と熔爐

目下本溪湖煤鐵公司に於ては毎日百二十噸の出鐵を見つゝあるが元來同公司は石炭採掘のみにては其經營至難なるを以て採掘石炭の利用策とし製鐵業を開始したる處案外の好成績にて特に歐洲戰亂の結果鐵の價格は日に騰貴の一方にて其前途益々有望なるを以て更に一基の熔鐵爐を据附くる筈にて昨年來滿鐵沙河口工場に於て右の溶鐵爐を製作中なるが滿鐵に於ては將來の經驗ともなる可きを以て昨今原料の鐵價の騰貴するにも拘ず猶最初の注文價格(四十五圓)にて深き用意を以て製作を進めつゝあり大抵本年六月頃にて完成す可きも愈々之れが据附工事を終りて開爐式を擧行するは來春二三月頃となる可し其の上は毎日二百四五十噸の出鐵ある筈なり因に公司の熔鐵爐は獨逸漢堡の製作にて滿鐵工場は其樣式に模倣して製作しつゝあり而して或は之れが爲めに獨逸の特許權を侵害することの有無に就きては種々研究の結果關係者は全くさる虞れなきことを確めたり滿鐵會社に於ても早晚自ら製鐵事業を開始す可ければ此の熔鐵爐製作の結果如何は將來に大影響あるを以て當事者は非常の苦心と注意とを拂ひつゝあり(大連)

□恩威並施主義

京畿道警務部長 隈部大佐談

警察官と聞いたゞけでも人の短所や缺點の穴探しのみを本業とするものゝ如く思はれて居る、此點は恰度新聞記者の職業と一寸似寄つたものだと、妙な處で鋒先を此方に向けながら呵々と哄笑をしつゝ語るやう

▲二種の警察行政 警察官だつて閻魔樣の親類筋ぢやあるまいし血もあれば涙もある、喜怒哀樂の情に於て何等常人と異る所があらうぞ、寧ろ或る場合には人情に絆され法の適用を躊躇する樣なことも強ちないではない警察ノ職務と云ふのは人民の安寧秩序を維持するとか生命財產を保護するとかの消極的なことのみをするのが本務ではないので寧ろ進んで國利民福を圖り人民をして常に改善進歩を意味する方面に指導啓發して行くと云ふ積極的な施設が最も必要なのである前者を消極警察と云へば後者は勿論積極警察と稱す可きであらう

▲警官と人民と 併し警察事務の大部分は後者に屬して居て都會地は別とするも前任地の咸鏡南道邊では普通の治安警察以外に行政當局の意思も承けて農耕牧畜のこと迄指導して遣らねばならぬ位である、此樣な有樣であるものを何事ぞ穴探し許りを專業として居るもの、如く誤解されて居るのは頗る遺憾である、此點は警察官と人民との意思が常に疏通して居ず警察官は恐いものだ近寄るべからずと云つた風に思はれて所謂毛嫌ひをする結果でもあらう、是等に就ては警察官たるものも常に人民をして有利な方面に誘導して行くことを勵むと共に親しく人民と接近して法の適用を有効にしたいものである

▲緩急の按排 さればとて警官が無闇に人民と接觸して法の本旨に悖る樣なことでは警察官たる職責を滅却するものであるからして此間の緩急の按排宜しきを得ることが頗る難事なのである彼のマホメット數の如く一方には教典を持ち片方には劍を帶びて即ち恩威並び行はなければならぬのである、けれども警察行政にせよ一般行政にせよ爲政者と人民とが相互に同情の念を以て行らなければ勞多くして効少なき結果となる爲政者は民意の存する所を忖度して法を施行するし人民も亦之れを遵奉して官民同力協心安寧秩序を維持し國利民福を圖らなければならぬと思ふ未だ著任匆忙の際とて別に具體的の抱負もないけれども要するに上下の同情を得て前來の方針を一層勵努力し專ら實績を擧げんことを期する考へである

○記念章と奉天

帝制實行に際して國家に勳勞ある者に改國記念章を下賜さる可きは既報の通りなるが過日北京政府より段上將軍に賜記念章二十個を送附し來れり授與せらる可き資格者は調査中にて未定なるも不日決定す可しと而して其形狀及び綬等は既報の如く表面には袞帝の肖像を表し背面には龍を刻めりと(奉天)

○地方費と臨時恩賜金

四年度の振當額と事業成績

▲地方費 大正四年度に於ける地方費歳計總額は二百六十六萬七千餘圓にして大正三年度に比し十萬九千餘圓を減少せり而して其收支歩合を見るに歳入に於ては賦課金四割四歩、前年度繰越金七歩、國庫補助金四割七歩、其他の收入一歩九厘にして、歳出に在りては土木費二割八歩五厘、衞生及び病院費三歩四厘、教育及び慈善費四厘、勸業費三割三厘、共進會費二歩九厘、教育費二割九歩、豫備費二歩六厘、其他二歩九厘なりとす、之に依りて見るに地方費事業の主位を占むるは實に勸業にして其内普通農事四割七歩四厘、蠶業一割四歩、水產四歩八厘、畜產一割二歩一厘、林業一割七歩四厘、工業四歩三厘なり

▲臨時恩賜金 大正四年度臨時恩賜金の歳計總額は百四十二萬四千餘圓にして、其收支歩合は授產費六割、教育費三割、凶歉救濟費一割なりとす、授產費事業に就きては各地方の實情に應じて適切なる方法を講じ普通農事二割五歩六厘、畜產三割八歩一厘、水產四歩六厘、工業一割二歩七厘、林業四歩五厘、蠶業四歩五厘を振り當てたり、而して教育事業としては公立普通學校三百九十八、私立學校六及幼稚園一箇所に補助金を交付し、凶歉救濟の方法として食糧給與、種穀給與、農具其他の器具又は資料の給與、並に被服給與、醫藥及び醫療費の給與、並に家屋料の給與等にして大正四年中に在りては平安南北道、京畿道、咸鏡北道、江原道、慶尙北道等の水害地に對しても亦之れに依りて適切なる救濟方法を講ずるを得たるは喜ぶ可し

○仁川昨年貿易

輸移出の激增

仁川港に於ける大正四年度貿易額を調査するに輸移出八百十五萬五千八百七十圓輸移入一千二百八十二萬三千九百二十一圓合計二千九十七萬九千七百九十一圓にして前年度貿易輸移出五百二十五萬五千九百五十二圓輸移入一千四百二十一萬七千百二十一圓合計一千九百四十一萬三千零七十三圓に比するに輸移出に二百八十九萬九千九百十八圓を增加し輸移入に百三十九萬三千二百餘圓の減額を示し差引合計百五十萬六千七百十八圓の增加なり而して輸移出重要品中前年に比し著しき增加を見たるは米穀の百九十九萬二千餘圓大小豆の十八萬八千餘圓人參の七十四萬餘圓にして輸移入重要品中前年に比し減退を示せるは戰亂の影響に依る鐵其他の歐洲品にして外米及び綿に於ても六十餘萬圓の減退を見たり

○昨年仁川輸移出米

仁川港大正四年度の輸移出米數量は玄米十四萬零六十四石價格百三十七萬七千五百十二圓精米二十萬五千八百五十二石價格二百六十六萬七千九百六十五圓にして之れを過去數年の統計明治四十三年玄米一萬八千〇二十石精米五萬三千四百六十石同四十四年玄米二萬〇八百十二石精米三萬六千四百九十三石大正元年玄米四萬〇九百十石精米四萬六千七百五十四石同二年玄米五萬〇八百〇八石精米八萬八千八百十五石同三年玄米三萬六千三百三十五石精米十二萬一千四百五十二石以上五箇年の平均玄米二萬三千三百七十七石精米六萬九千三百九十石に比するに玄米に於て十一萬六千六百八十七石精米に於て十三萬六千四百六十二石の增加を示し實に仁川開港以來の新記錄を作りたる空前の盛況を呈したるは大正四年度は其前年度に於て朝鮮未曾有の大豐作なりしと下半期に入り米價の漸騰せるとに依り奥地よりの廻穀增加し伴ひ輸移出旺盛を極めたるが其主因なるもの、如し

丙辰元旦 釋宗演

拮据半世俗塵匆、忙送舊又迎新、無心不當有情者、喫見寒梅一朶春。

▲群集心理を排せよ

大阪堂島米穀取引所理事長 高倉藤平氏談

▲昨年上半期に於て米價の十二三圓臺に下落せしは特に地方購買力を減殺せしめて一般經濟界に不況の嘆聲をあげしめたるが實に經濟上の變態不振は米價の暴落によつて來りしにあらず歐洲戰亂の惡影響に基く世界的風潮なれば漸次戰爭の繼續に從つて彼等交戰國が中立國を經て供給を仰ぐ物資の代價は却つて幾多の不況を補ひ彼等の決濟金を得て富裕に赴くてふ自然の結果なれば日本も亦如上の徑路を踏んで昨年下半期以降は米價は恢復し貿易は出超打續き正貨の增加を見て頗に經濟界は生氣躍動の姿を呈し來れり

▲近般の趨勢は尙兩三年は持續すべきを信ずる幾分の理由ありと雖も先づ吾人は日本人が此の躍動期に於て群集心理に支配せられて世は不景氣なるの觀念を除却するを要す獨逸の强大克く墺土の老衰國を扶けて奮戰十八箇月畢竟擧國一致金力を濫せるに輸出せずんば非ず果れは軍事的築に止まらず國の商工業的施設に於て然るを思ふ我國たるもの先本年の經濟界を憂ふるものあらば夙に其の優柔不斷を悟りて遊金夥多に困るの何等畫策なし無爲にして過ごすを愼み徐に商工業獨立の期成を計らざるべからず仍て以て化學工業鐵工業等國家をして富裕たらしむべき基礎を作るべし

▲斯くて戰亂の好反響期に入りし我經濟界は是等國民の覺醒と相俟ちて新規事業の勃興を見ずや徒に警戒の急に洋々たる發展の機を逸し去らんは遺憾なり、今日の趨勢より推して緊縮主義消極方針は愚策たり一國の經濟の事また往々豫想に反すると雖も四圍の情況は徒らに悲觀を許さざるも若し前說せる商工業の獨立を計る事不可能たりとせば吾亦何をか言はんや(大阪支局記者)

遊金と工業株

大阪株式取引所理事長 藤野龜之助氏談

▲昨年の終りに於て定期市場の活躍は何人と雖も意外の感なき能はざるべし若し歐洲戰亂の終局を告げたる曉には疲弊せる交戰國より建築材料器具雜貨の注文に接し貿易關係の好調に進むと機械及び化學工業藥品類の輸入容易となりて生產能力增加を刺戟され事業勃興して株式の信用を加へ從つて定期市場も活躍すべく其期正に終局後に在るべしと想像せしも金利の低下は正貨の增加により資產者が抱擁せる遊金を銀行に預入せず最も確實にして好利廻りなる化學工業品製造の會社株式に著手せるより諸種の好材料を振り翳しては斯くも熱狂的相場を演出せるが動機と理由は四圍の情況の讓良なると巧妙なる貸殖法にあるとの自覺に出でたるものなれば單に熱狂と言ふ能はず從つて根據あり根底ある所に立脚して適往する處あれば勿論高下の値幅も先きに失するの恐なき能はざるも漸次之れと戰爭終局相場に迫りつゝ前進するものと判せらる

▲定期市場中株式既に然り、又米價の氣直りによりて農民の資金豐かとなり購買力一般氣勢を甦め絹糸亦原料の騰貴に促されて眼前三四月の候の需要期を控へ生糸は米國輸出漸增すべく、旁々平和の秋來らんか戰費の浪費により國内何れかに巨額の金は蒔かれ置かれあるべきにより之等の反動的華美は必らずや邦品を求むべく今年の趨勢はこの好人氣に驅られて愈々沸騰するなるべし(大阪支局記者)

村上浪六著(其の傑作小說)

八軒長屋

前編 十四版 定價金七十錢
後編 九版 定價金七十錢
續編 七版 定價金六十五錢
郵便稅本社持

八軒長屋は文章の外に、議論の外に、著者その人を得ざれば能はざるものなり。戀愛小說にあらず。煩悶小說にあらず。自然主義にあらず。實際上の理窟主義にあらず。机上の一種の人間學を洒落と滑稽の兩面より眞寫せるもの。

京城日報代理部

○成功致富の近道は何か

まづ株式相場をな[illegible]

株の賣買は決して危[illegible]

『富強世界』社[illegible]

▲最近の成功者かくの如し [illegible]

▲今の富豪も皆株にて金を儲く [illegible]

▲相場に失敗者多きは何故ぞや [illegible]

▲株とは如何なるものか [illegible]

▲株を持つ利益此の如し [illegible]

▲未亡人株の賣買を始む [illegible]

▲株の賣買の利益此の如し [illegible]

▲株の相場をなすとは [illegible]

▲株式相場講義錄の發行 [illegible]

▲株式賣買の資金 [illegible]

▲株は何人でも何地でも出來る [illegible]

▲空論にあらず實際的なり [illegible]

▲余の採算的相場觀 [illegible]

▲株の相場下らば如何するか [illegible]

▲株式相場の研究 [illegible]

○仁川附近の漁業

[illegible]夫が乘つてゐる譯である此れに仁川常主の者を乘せると大した數になる

▲昨年は特に陽氣の加減で十二月五六日迄收穫があり隨つて其頃迄施[illegible]

▲漁具は立網などは海流の關係上絕對に使用することが出來[illegible]れに近來鮮人の漁業法が大に老熟し[illegible]

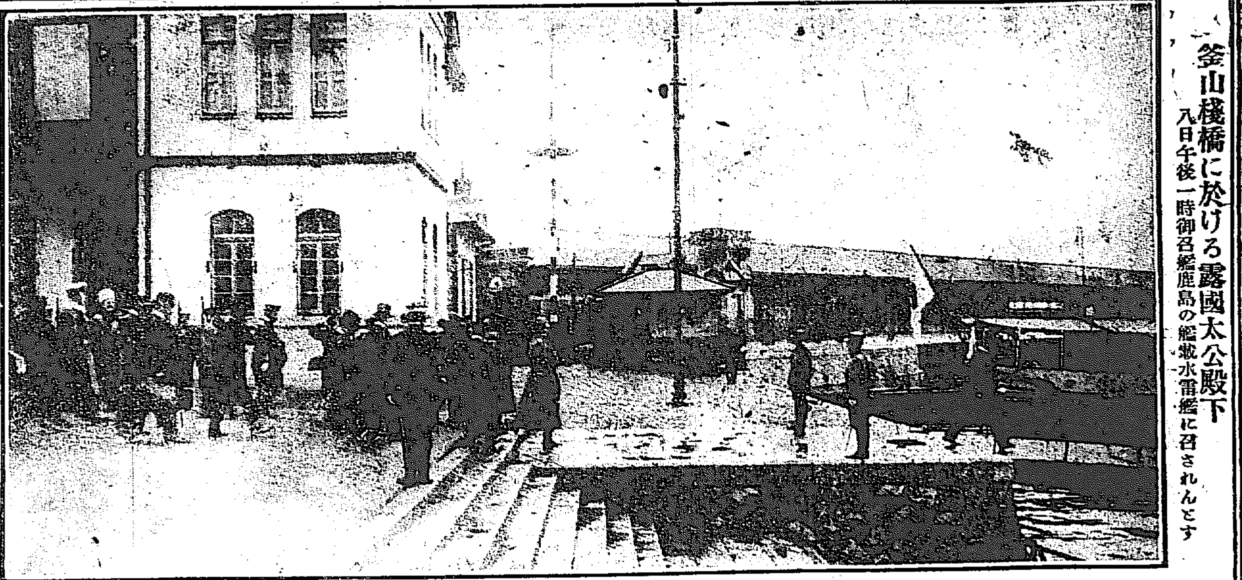
[illegible]が十二月二十日頃迄は釜山近海は大なる不漁で一つとして著荷がなかつ[illegible]

[illegible]である此中三萬圓以上は鐵道輸送で入荷するのであるから魚市場の純[illegible]

○兩石油坑の試掘

[illegible]て後者は目下の掘進程度二百間に達したるが同新坑は運搬の便利最も好地位を選びたれば多少背斜軸を[illegible]

伊豫、香川、山陽方面…前から…なつて…わりで仁川常住者以…外に特に此地で冬を過す樣な者がな…い木浦から北にかけて稍さうである
數は千七百艘前後で一艘の乘組員を
五人と假定すれば八千五百人位の漁
の漁業…べては居るが未だ其域に達せないのは甚だ遺憾とする處である
…斯かるとか其他一二種特に限られたもの…使用して居るが漁獲は實に夥しい其…山地方から
…書生を二人、女中を三人までも使つて何不足なく…入荷商も樂觀して居た
かくて彼女の夫は下年五月生れの乳…
▲尚市場の賣揚高は直接の水揚委託仲買人の引付等金額で十五萬圓位から落荷するのであるから非常に高くなる點は免れまい（水産會社久保…支配人談）
…十間にて僅に輕油分の出油を…り乙程なるが目的の油層に達せん…期し其後尙ほ引續き掘鑿中なる…
…を第一坑のみにて判斷し能はずさの事なるが兎に角今四五十間にて地層上目的の出油を…るに至るべき乎と會社側にては觀



釜山棧橋に於ける露國太公殿下
八日午後一時御召艦鹿島の艦載水雷艦に召されんとす

●春のやうな暖かさ

去年の今頃とは三十度以上の差
北極から印度洋へ出たやう

今年の暖かさは實に記錄破りである元來穩臘中の平均溫度が京城測候所創立以來の高溫度で氷點以上の零度七分最高溫度が五度七分といふのも

■近來珍らしい事 であるが引續き新春に入つてからも暖かく先づ元旦の朝から雨が降り出すなどと云ふことは測候所創設以來の新記錄である、而して又昨今の溫度といふものが實に氣味惡い程暖かで播氏の九度三分を示して居るのは全く例年の陽春

■二月頃の日中に も匹敵すべき溫度である、又これを例年の平均溫度に比較するも概して十度乃至十四五度許り高溫度であるのみ而して又昨年大正四年の昨今の溫度は一月十三日の零度以下廿一度二分と一月十四日の零度以下廿一度三分の最寒に比較すると約三十度以上の大差がある彼の

■北極と赤道との 溫度の差が四十度といふのだから殆んど昨年と今年では北極から印度洋に出た程の相違に近いとも云へる、此の原因は矢張り毎時のお定りの如く北方大陸蒙古方面の高氣壓の關係であつて總て朝鮮でも滿洲でも多くは嚴寒の續くのは此の方面の高氣壓が據がつた儘固定して動かずその爲め常に

■寒い西北の風を 送る爲めであるが今年はそれが常に流動的で動いて居るから一度現れるかと思ふとすぐ消滅して一向眞物の高氣壓になりきらぬからである、從つて寒い西北風の代りにポカ〳〵暖かい東南風が吹いて昨今の如き氣溫となつた譯である、其れで今年の暖氣は全く大陸方面に

■高氣壓が發達し なかつたのが主なる原因であるから世間の謂ゆる黑潮の接近したなどと言ふのは一の臆說に過ぎないのである、次ぎに斯くの如く暖かであると何か天變地異があるとか今年の農作が不作の前兆であるとか種々の流言蜚語が行はれるものであるが先づ

■氣候の溫暖なる か爲めに直接那麽事の起る筈がない併し極く微細なる學理上の關係から言へば高氣壓の無い爲めに空氣の壓力が減じて地中の噴火などを助けることが無いとは云へぬが併し朝鮮の如きは從來の例によるも那麽事があらうとも思はれぬ、其れから

●此暖氣は續くか

其れは何とも申し兼ねる

年末より引續き異常の暖氣である十二月の十八九日頃一度寒氣の來たのみにて其後は平年より概ね五六度時としては十度位も暖である十二月の

■各地の平均氣溫 は西側では平壤東側では城津以北は氷點下に降つたが其以南は孰れも氷點以上である之を過去の觀測に比較するに概ね未だ無き暖氣である仁川の如きも例年十二月の平均氣溫は氷點下二度内外であるが先月は一度八分である去る三十七年の十二月は從來一番に暖かであつて一度一分だが

■其れよりも高溫 である他の地方も概ね同樣である昨今の氣壓配布の狀況は全然例年と異なり恰も三月頃の狀態と似て居る從來の觀測に見るに明治四十年の一月は稍本年と同じ樣で同年は仁川では二月の始めに氷點下十四度に降つたのみで甚だしき寒さが來ずに經過した今年も本月末より

■二月始めに掛け て寒氣が來るであらうか昨年の樣な烈しいことは有るまいと思はれる一體何故こんな暖氣であるかと云ふに世間には潮流が變つたと云ふ人もあるが併し朝鮮の寒氣は急激に來るので一晝夜二十度以上も降ることは珍しくないこんな急變が潮流に起る筈がなく

■假令潮流に變化 あつた所で一時的の潮流か氣溫に及ぼす影響はそんなに著しいものでない全く一般の氣壓の狀態に依るものである朝鮮は勿論東亞全體の寒氣の大動源となるものは亞細亞大陸に生ずる高氣壓であつて之が非常に發達するときは北西風が吹き荒むと共に寒氣が非常に強くなるのである故

■農作の點から考 へても昨日の溫暖なのは別段害にはならぬやうであるが寧ろ暖かい程結構なのであらうと思ふ、夫れから恁麽に暖いと其の反動で嚴寒が襲來するだらうといふ人もあるが暖かいから其の後に酷寒になるなどといふ理由は無い、唯だ暖かさに抑れると

■鳥渡の寒さにも 各自の皮膚に對する感じが著しく寒いやうに思はれるのみで詰り暖かい丈け儲けものである、又朝鮮の氣候が漸次暖かになるのは内地人が多く入り込むだから氣候まで同化されたのだなど云はれるが那麽理由は無いのである、喩へば市街地などは

■人家稠密の爲め に多少暖かになるといふやうな事もあらうが詰り氣候は循環するものであつて寒い冬が續けば其の後に暖かい冬が來ると言つたやうな譯である

■寒氣の強くなる かどうかを見るには此高氣壓の發達の程度如何を觀測しなければならない此爲めには該高氣壓の中心に當る西北利亞中部より中央亞細亞方面の觀測が必要であるが我々の今日得る材料は僅に南滿洲附近のみで大高氣壓のほんの一端を見て居るに過ぎない僅かに

■手の先きの脈を 見て身體の健康を診斷する樣なもので甚だ頼無いと言はざるを得ない故に此冬は寒ひか暖ひかと云ふ樣な長期に亘る豫報は今日では出來ないと云はねばならぬ（仁川觀測所平田理學士談）

●暖かさに欺されるな!!

此頃の婦人衛生

寒に入つた今日斯樣に暖かいのは時候の許さぬ事である、恁麽氣候は歐洲でも北歐の方に度々ある事で目下戰亂中の獨逸ケーニスブルグ邊にもある、彼地では

■『寒中に暖か なれば用心せよ』といふ諺もある位で又支那に於てもむかしの宰相が寒中に牛が汗をかいたのを見て我が德の及ばざるを虞れ野に下つたといふ偶話があるがこれはわれ〳〵醫者の眼から見ると面白いことである、元來身體の爲めから云へば寒さはヂリ〳〵寒くなる方がよい、昨今のやうに暖かな後に急に氣候が寒くなると

■不意を打れ て風邪などの患者が增して來る、又一般潜むで居つた病氣も惡腰時に多く現れるから一般の人も暖かいと思つて油斷してはならない、又久しく朝鮮に居つた人々なれば朝鮮の風土にも馴れて居るし猶ほ三寒四溫の變化をも解つて居るから滅多に油斷をしないけれども

■溫暖な内地 から渡來した人などは往々やりそこなふ事がある、殊に婦人としては此の溫暖の激變に月經の變調を來すとか多く又夜間就寢の時などにも今夜は暖かで大丈夫と安心して急に寒さに襲はれたりすることが多いのである殊に處女期の女學生などの如き年頃の婦人はしよぼ

■濡れなどを 用心すべきである元來妙齡の婦人は身體も精神も纖弱なる上に月經期になると一層氣候に對する抵抗力が弱るものであるから用心するが肝要である、夫れから今年のやうに雨が降つて急激に寒くなると山の手の道路などは鏡のやうにツル〳〵と凍結して迂かり外出しようものなら

■道路に轉倒 する虞がある、その爲めに姙娠中の婦人などは流産することが多いからこれも老婆心に申し上げておく（工藤婦人科病院長談）

●卦に現れた今年の京城の運命

景氣が滅法好くなる

『澤風大過』

銀行の支店長を辭して卜易翁になつた岡村介石君曰く

䷛ この卦は『澤風大過』と云つて物が停滯して梁も柱も之れを支へ兼ねて居る形であります。……と『京城本年の氣運如何』を卜ふ可く

■綠の毛氈を敷いた 床の上に磨き上げられた蓍木を整へ、瞑目、全身の力を丹田に据えて而んだ筮竹を勿體らしく燒物の筒に挾した岡林介石翁は記者の方を振返つて說き出した。『澤風大過』の卦の前身は ䷯ 即ち『水風井』井戸の中の

■水を釣瓶で汲む象 つまり京城を中心として朝鮮の寶を拾はんが爲め、井戸の水を汲む樣に多くの人と物資がこゝに集つたことを意味してゐる、それが此四五年來積り積つて今は『澤風大過』と化したので、梁や柱が重い家根に堪へぬ樣にその極に達し動きがとれぬ所まで進んで將に大破滅を見んとしてゐる、

■供給過多、輸入超過 荷物を兩手に持ち切れない程提げて手首がもげさうに爲つてゐる、土地も、品物も値が出ず、金融は逼迫してゐる、それが現在の京城であるのだ、然らば

■京城の將來は如何 といふに、この『澤風大過』の卦は ䷭ 即ち『地風升』に之くとある、䷭『地風升』とは地中に在るの風が升るの象で、風は木の實とも解き、春風に地中に在る木の實の芽が萠え出づることを現してゐるから、行き詰つてゐる現在の京城の氣運に、本年は

■新しい芽が吹き初 めることを示してゐる、『地風升』の卦の前身は ䷓『風地觀』で地上を大風一過した象である、前にも云つた樣な風は木の實とも解くから木の實が地中一面に落ち散つた象ともなるそれが『地風升』でその風の升るに伴つて

■一度び散た木の實 も地中から新芽を出すわけである、して見れば經濟上頗る困難の狀態に在つた京城は本年から氣運挽回、春陽に育くまれて木の芽が出る樣に景氣が立つて來るといふお芽出度い易である、併し乍ら新芽は弱い、之れを

■保護し之れを培養 する者が無くてはならぬ、それで朝鮮銀行とか、東拓とかその他の會社銀行には新材を入れてこの新興の氣運を助け導いて貰はねばならぬ、又内地から低利の資本を引くとか、新しい實業家、事業家が現れるかして此運氣を助長して行かねばならぬ、いさゝか樂觀す可き運氣は生じてゐるのだが、之れが保護と

■指導宜しきを得ぬ に於ては甚だ悲しむ可き結果を見るかも知れぬのである。……と談は何時の間にかお手前物の經濟論に移つて握り占めた兩の拳で机上を矢鱈に叩く……然し最後に蓍木を指して曰く『これで語るのですから噓はありませんよ』

●斯んな氣候は今迄に無い

暖かさと商業

私が渡鮮して以來既に三十年近くのお正月を迎へたが今年のやうに暖かい年は珍らしい、殊に元日に雨が降るなんて云ふ事は實に空前の事である、尤も數年以前の元日に一度雨が降つたこともあつたが其の時はすぐに地面が凍結して道路が鏡のやうになつた程寒かつたのである、今年のやうなことは先づ私の記憶してから以來未だ曾て無いことであるが鄕里からの音信によれば隣壁邊りも今年は非常に暖かいといふことである、此の暖氣は商人としては別に大した影響はありますまい、唯だ石炭のやうな商賣とか防寒用の商賣とか其他漁業では明太魚漁、鯨漁などに多少の影響は無からうかと思ふ又農作などには餘り邪魔にはなるまいと思ふ（福田氏談）

●仁川の猩紅熱

仁川新町一丁目二十二番地倉本玉代（一七）は去る五日猩紅熱に罹りたる旨主治醫より屆出でたるを以て直ちに避病院に收容したり

頭の毛迄ぬける恐しい こしけと

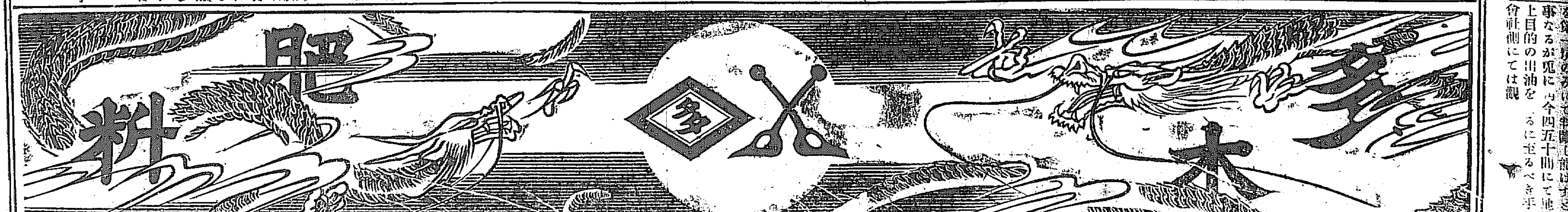
不姙症はこの世で女殺

こしけを病れる御婦人は頭が重いと思へば足腰が冷ゆる頭の毛が拔ける齒が痛む仕事が手につかぬもので餘程御用心にならぬと一層の苦しみをせねばなりません最早こしけの恐ろしい病である事は皆樣も御承知の通りですがこしけと云ふ中にも水のやうなもの卵の白味のやうにねば〳〵したもの茶褐色の下りもの又肉の塊のやうなのごろ〳〵した中に血の混つたものなど色々ありますが一樣に臭い臭氣を發し段々と腰骨にシミ渡きますが言はずと知れた腎臟の滋養として血や肉になる大切のものが病氣の爲めに腐つてこしけとなつて下りるので一日でも安閑にする事の出來ぬ實に恐ろしい病で

其の證據にこしけのある人に限つて物事に根氣薄く、精神が疲れ貧血病に罹り身體が衰弱し人生無二の快樂なく又頭痛、逆上、眩暈、月經不順、腰足冷え下腹筋張り又こしけの毒で子種を取り殺され不姙症に罹り、重くなると遂に一命を亡くさねばならぬものでありますから、丈夫に見えて子供の出來ぬ方、こしけの爲めに毎日惱まされる方はアレかコレかとお迷ひなく二錢切手十枚又は三錢切手七枚添へて御申越になれば足腰の冷え下腹筋張り、不姙症、貧血、頭痛、逆上、眩暈、流産、早産、お産後の病、月經不順、耳鳴、肩凝り、不眠症、こしけの爲め毛の脫ける病にのめばすぐきく治つた方が何よりも證據のこしけ婦人病の妙藥二日分と、こしけの手當及び治療法を親切に判り易く書いた（百五十餘頁寫眞三十餘入）册子を差上ます

注意 猶ほ夫婦の接見藥…今又永年研究の上發表したなど、其の都度サソ八百な言ふて御婦人を欺すやうなノリで固めたカス程の効めも判ぬ丸藥なら二日分無代で差上げますから最も確にキク私共專賣の妙藥と是非服み比べて御覽なさい若しノリで固めた効めの判ぬ丸藥でもお望みの方があれば妾どもなら半價でも場合によつたら無代でも差上ます 實際婦人病の丸藥といふものは皆これ位つまらぬもので其の上服めば腹痛の起る樣なヒドイ丸藥類もあります

東京芝區愛宕山際田村三 篠原とめ子
（電芝四〇四八）



千生瓢（92） 須藤南翠作 筒井年峰畫

七本槍（六）

宿屋兼淸は、初めより足場を擇んで、優勢に働らいてゐる。櫻井左吉は傾斜のある崖に在つて、登りがけに切り込むのである。武術に於ても勇氣に於ても、更にこの老將に劣らうとは思はぬが、位置の善惡は如何とも爲し難く、踏み込み〳〵、躍り進んで、好き足場を占めようと焦燥る程に、却つて敵に突き懲められて進退殆んど谷る場合となつた。

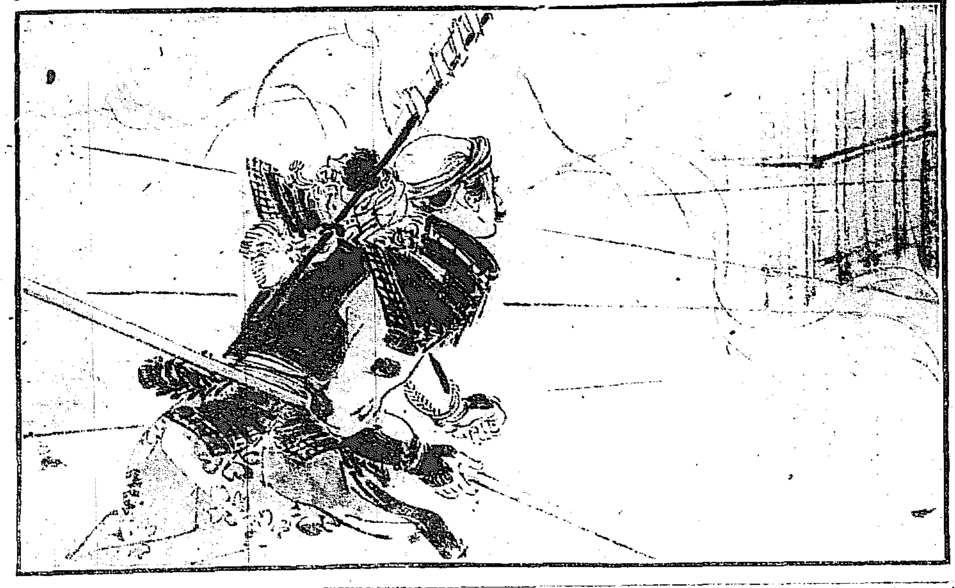
その時、追兵に當つてゐた宿屋が郎等、主將の大事と認めたので、敵を外して取つて返し、兼淸を後に掩うて、槍襖を作つて左吉に對つた。七左衛門尉兼淸は、敵を郎等共にうち委せて、徐かに此處を引き揚ぐるを見て、左吉の無念遣る方なく、切り捕つて追はうと進む時、眞先に進んだ七左衛門兼淸が舍弟、宿屋次郎助、槍を伸べて突きかけた。左吉はそれを避けんとして、思はずも足を踏み損じ、崖路をどつと墜落した、羽柴方より之を見れば、おはれ櫻井は次郎助が槍にかゝつて、突き落されたかと思はれたが、木の根に足のかかると共に、筋斗うつて跳上り、元の處に攀ぢ上る。母衣は無慘に押し潰され、半月は半折れて、滿身土に塗れたるが、是時哄と喚いて擊ちかかつたる羽柴勢に追つ立てられ、宿屋の郎等も押し崩されて、皆引き色になつたのである。

之を支へて踏み止まつた、宿屋次郎助の凛々しき武者振を見るや、左吉は『や』と聲をかけて、太刀振被つて切り込んだ。次郎助も名譽の弓取りである。心得たりと槍を合せて二三合が程は戰うたが、勝負を一氣に決せんとや思ひけん、槍投げ棄てて無手と組む。左吉も太刀を打棄てて組んづ解れつ挑み合ふ。左吉は年こそ十八なれ、膂力にては心得ある最手である。やがて次郎助を組み敷いて、其まゝ首を掻き落し、太刀に貫ぬいて突立ち上つた武者振の花やかさは、武士の中の櫻井よと、稱ぬ者こそなかつたのである。

この一段の勳功は、秀吉遙かに望見してゐたので、後に首級を參らせた時、『左吉、手柄〳〵、其褒賞には三萬石を取らするぞ』と稱贊した。『難有き仕合せに存じ上げまする』と、左吉も辭退せず御受けをした。元來この櫻井左吉は、秀吉の側小性ではあるが、舍弟小一郎秀長の附人となつてゐるので、秀長もまた其勳功を賞して、即座に二萬石を與へたので、十八歲の少年は、こゝに一躍して五萬石の大名とは昇進した。七本槍三振太刀の勇士、皆拔群の功を建てた事は、敢て左吉に讓らなかつたが、孰れも三千石の加增に過ぎなかつた。其中で獨り左吉の莫大な恩賞に與つたのを見ると、其器量骨柄に乘じて勝れた所があつたと思はれる。去りながら此後三年にして、左吉は不幸にして世を早うしたので、功の錄すべきなく、記錄の傳ふる所がないから、更に其人物を知ることの能きぬのは、史家の最も遺憾とする所である。

敵將の首級を太刀に貫ぬいて、起ち上つた處へ、紫竹に金の角取紙の指物した武者一人、槍を橫へて走つて來た。是れも同じ小性仲間の糟屋助左衛門であつた。鷹に逐はれた小禽の如く崩れ散つて逃げ走る敵の軍勢に、きつと目を著けて進むでゐたが、如何なる獲物の鷹眼に映じたのか、槍を輕く引つ抱へて、一散に走り出した。其の疾きこと、宛然驅馬に鞭つばかりであつた。

糟屋が眼に映じたのは、櫻井左吉を舍弟郎等にうち委せて、徐かに引き揚げた宿屋七左衛門尉兼淸であつた。兼淸は崩れ潰ゆる味方を糾めて、敵を支へようとする處であつたが、糟屋は一散に走り寄つて、『越前方の大將と見受け申した。是れは筑前守が侍に、糟屋助左衛門武則おざる。一鎗一つ參らさう』と、名乘りかけて突きかけた。兼淸も『心得たり』と槍を合せて、武則が骨柄を凝つて觀た。



新刊紹介

▲學生（新年號）未だ年始に至らざるに既に第二版を出す程に好評あり以て知るべきが諸國特の科學的智識に加ふるに主筆杉月の高潔なる風姿を加味せる一種の氣韻滿ち散て學生諸君に薦む（特價廿四錢東京神田裏神保町富山房）

▲エ、バナシ（一ゴウ）コンドアタラシクデタエバナシデスタイヘンオモシロイカラカツテイタダイテヨンデゴランナサイ六セン（東京牛込市良町二三東京出版社）

▲吉田松陰言行錄（武田鶯塘著）幼時より逝世迄に至る留魂錄に終るまで詳しく松陰先生の面目を髣髴たらしめつゝあり文章流暢讀んで倦まず眞に近來の快著たり（發行所東京市牛込區神樂町一丁目東亞堂書店定價金廿錢）

▲しつけ（高橋淸水著）著者高橋氏は現時我邦に於ける兒童に關する多くの文献を閲査し歐米のそれを研究し自己の兒童に就ての少なからざる經驗を以て構成したのが即ち此書である育兒上の指針たるを失はぬ（發行所前同定價四十錢）

▲ニコ〳〵（新年號第六十號）卷頭に吉岡千種女史筆の美しき三色版あり各名士のニコ〳〵寫眞は例に依り共にニコ〳〵を禁ぜざらしむるものよみ物には最後の勝利、精神の需要、第六の大正五人男等その他松崎天民、尾島菊子小野賢一郎等諸名家の作を滿載せり新年附錄として添付せるエハガキは石版數度刷の綺麗なもの（一部金二十錢東京麴町有樂町三丁目ニコ〳〵倶樂部）

▲實業之世界（新年號）三宅雪嶺、幸田露伴の兩博士が年頭執筆し、記事の驚新と體裁の明快とを以て雜誌界に獨步する『實業之世界』新年號は充實せる內容を以て現はれたり、三宅博士の『商士の三種』は文明的、同化的、植民的の三種に分ちて、商士道を說くこと[illegible]の政局に側光を投ずるもの、野依秀一氏が[illegible]の勸告せる一文は讀書界に[illegible]問題以上の大問題を惹起すべし、[illegible]長谷部泰三氏の[illegible]醫學界の降伏[illegible]增田文相の學制案[illegible]『大浦乃木問題』に對する國民の判決は三千名士に質して得たる二問題に對する發表の結果即ち國民の批判な代表して明快、此の他高嶺博士の[illegible]より見たる戰後經營』等二百五十頁の大冊全篇一死文字なし。是れに全國有名雜誌以上長者番附を附錄として一部二十二錢とは[illegible]く可し。本號より始めて名古屋を紹介せる附錄府縣版は今後每號西五十頁を割きて全國に及ぶ由なるが、其定價は依然十一錢に据置くと云ふに至つては發行者の地方の爲めに盡す所の誠意な知るべし（東京有樂町實業之世界社）

▲書畫骨董雜誌（九十一號）一冊稅共十五錢東京芝南佐久間町一の二其社）

◉數奇な博士の令妹 五歲の愛兒と乳吞兒とを連れて

の男の兒と乳吞兒とを連れた若い婦人が宿を取つた、綺羅びやかな衣服と何處となく氣品のある其姿とが端なくも宿の人々の目を[illegible]は年の頃二十五六、色の白い面長な美人で時折りは愛くるしい子供の手を曳いて外出することもある又或時[illegible]められる、女を名は貴子（二九）と云ひ實驗心理學者として知られたる帝大教授文學博士松本亦太郎氏の令妹で[illegible]ては深い仔細がある、夫人は某高等女學校の出身で、今の夫に嫁いだのは六年前のことであつたが、其良夫は[illegible]ゐたが、貴子は間もなく男兒を分娩し、都合あつて一家は更に牛込區東五軒町三十五に轉居つた[illegible]合あはて退かなければならぬ破目になつたのとで、一家は忽ち饑鬼の爲めに苦しめられ遂には[illegible]

▲一夜飄然として家を飛出したまゝ行方を晦ましたのである[illegible]

い挨拶に、扨こそ寄邊もなくて下宿屋住居をするとなつたのださうな

消化と毒けし 仁丹

活用

お雜煮祝ふ時仁丹……食滯せず
芝居見物の時仁丹……頗る爽快
新年宴會の時仁丹……悪醉せず
カルタ會の時仁丹……元氣橫溢

▲仁丹飲んで年中爽快にお暮しあれ!!

藥價 拾錢 廿五錢 五拾錢

金言 氣に入らぬ風もあらうに柳かな……（應白）

寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應ず 京城日報社 寫眞製版部

德富蘆花譯述 探偵異聞（第三版）▲定價金二十五錢 ▲郵稅本社持

○梟鵰の奇談○うらおもて○毒藥○雲がくれ○秘密條約○大隱謀○まかつみの七編にして凡て外國探偵小說中の粹を拔き之を譯するに蘆花氏得意の妙文を以てす波瀾萬丈人物出沒の奇一讀魂飛び神飛ぶの思あり蘆花氏の著書中全く色彩を別にしたるものにして亦以て著者の多趣味多方面の筆致を窺ふに足る可し 京城日報社代理部

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通） 酒井婦人病院 入院隨意 電話二六〇〇番

攝津灘 大塚釀造所吟製 金露 京城本町四丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

りん病 ばい毒 專門藥房 京城南大門外停車場通り ドラッグ商會 港鮮本部

◉近頃京城及東京等に僞ドラッグを開店して吾商會の登記濟商號を盜用する惡漢あり患者諸君御注意を乞ふ吾が社は、天下に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥か常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、別に種も仕掛けもあるのではありませぬ。只世界の有りとあらゆる淋病、梅毒藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥とでも、効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月三日の京城日報を御覽下さい。◉ばい毒藥一週間分普通壹圓武拾錢特製武圓●りん病藥壹週間分普通武圓特製參圓●照會は返信券を要す 本舖 大阪 合資會社 ドラッグ商會 電話二五六七番 振替京城四六七番

◉新荷著アンクル式片側懐中時計◉

機械堅牢示針正確精巧優美外觀も實用的にして價格の低廉なる天下無比

十九形	十八形	十三年形	十九形	十七形	十八形	十九形	十九形	十六形	十二形	十二年形	十二形	十二形	十一形	十九形	十八形	十八形	十二形	十六形	十九形
鐵側	ニッケル側	同（機械表示）	同（兩蓋）	同	銀側	金鍍金張側	ニッケル腕時計	同	同ラヂューム付	同	銀	鐵鍍付	金パリ（十年保險）	同	同	同	銀	十八金	同
一圓九十錢	二圓十錢	二圓九十錢	三圓九十錢	三圓九十錢	五圓	十六圓二十錢	四圓二十錢	十圓	九圓	十一圓八十錢	十二圓	十五圓二十錢	十八圓	二十圓	廿一圓八十錢	十二圓八十錢	百五圓	百五十五圓	

右は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの伏して冀はくば急速御用命仰度候尚地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商 イングレッシー商會 本店 京城本町二丁目電話九七二番

美人（縱五寸五分 橫四寸） 露骨○○男女○○ ○寫眞三枚組◉密送料共三十錢（切手一割增） 大阪中之島二 美泉堂

模範 牛乳 純粹培養 ヨーグルト 場主 獸醫 肥塚正太 京城竹添町四 東亞牧場（電話五二番）

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
秀吉丸 一月十日後四時出帆
大有丸 一月十三日後四時出帆
神代丸 一月十九日後四時出帆
蛟龍丸 一月十六日後四時出帆
若が代丸 一月 日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 文神丸 一月十一日後五時出帆
○元山淸津浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 一月 日後五時出
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 一月十 日後九時出
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 一月 日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大眞丸 每月二日九日吉日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 大池回漕部 木船取扱店

共同汽船仁川出帆

◉浦津沿岸各港を經て雄基行 第二共同丸 月 日前八時出帆 阿波共同丸 月 日出帆
芝罘、大連行 第一共同丸 一月九日後二時入 一月十一日前九時出
朝鮮西海岸主要港にて荷客運送取扱仕候 大連にて青島行定期船に接續旅客貨物共直通取扱可仕候
城津、淸津、浦鹽行（元山出帆） 第一阪鶴丸 月 日 月 日後九時出港
阿波國共同汽船株式會社 本町二丁目（電話一〇八番） 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 釜山代理店（電話二四四七番） 南大門電話（二六八、二〇一七） 京城取次店 河村運送店

大阪商船仁川出帆

○外國航路（遠洋航路を除く）旅客運賃御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 須磨丸 一月十七日 天智丸 一月十三日 午後五時出帆 溫州丸 一月十一日
×○木浦、釜山、長崎行 ▲は嚴原へ寄港 安東丸 一月十 日 ▲城津丸 一月十七日 午後二時出帆
×○大連行 安東丸 城津丸 一月 日 一月廿日 午後二時出帆
◉木浦大阪行 釜北丸 一月 日 正午出
×◉群山神戸大阪行 汕頭丸 一月 日 後五時出帆
○群山、釜山、橫濱行 チヨイサン丸 一月十五日 潮州丸 一月廿六日 午後四時出帆
△△○大連直行 潮州丸 一月廿一日 正午出帆
○△淸津、浦潮行（元山出帆）▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港 地久丸 神宮丸 大智丸 一月 日 一月十九日 午後二時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 新商丸 安平丸 一月十七日 一月廿六日 午前四時出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前御貨物御送込可被下度候 ○×印は一等客御斷り△印は二等客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番
中國四國沿岸各港行船客に對し賃分の門司迄一割門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番三〇三番 鐵道及び內外船と荷客運送の便あり、本社は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御申込相成度 京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店（電話長二二七〇）

全羅丸 一月廿三日 / 京畿丸 一月十三日 / 黃海丸 一月廿七日 / 成鏡丸 一月十七日 釜山發 門司より釜山各港寄港雄基間ごと
穩城丸 一月 日 / 昌平丸 一月十二日 / 鏡城丸 一月十四日 元山發 元山より各港經由雄基行
平壤丸 一月 日 元山發
忠淸丸 一月 日 元山發 城津、淸津、浦鹽行復航釜山經由門司
永興丸 北久珠、五星浦行 每月廿八回 元山發 又は長崎延長
嘉島丸 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 一月 日 釜山發
江陵丸 / 驪陽丸 長生浦、方魚津寄港 每日 釜山（浦項）發
三浦丸 長承浦、鎭水、巨文島、濟州島各港行 一月 日 釜山發
海州丸 / 統營丸 / 巨濟丸 / 慶尚丸 各港經由統營行（三日目一回木浦行） 每日 釜山發
順天丸 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續 三日目每 木浦發
慶興丸 一、各港經由濟州島行（四廻） 一月 日 木浦發
公州丸 一、南多島海列島行（月三回） 一月十二日 木浦發
公州丸 一、各港經由濟州島行（東廻） 一月十二日 木浦發
宗信丸 海州鎭各港經由、鎭南浦行 一月 日 仁川發
江原丸 芝罘、大連、青島行 一月十六日 仁川發
驪水丸 / 晉州丸 各港經由木浦行 一月十三日 / 一月 日 仁川發
全州丸 / 南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 每日午前 仁川發
平安丸 往航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航 門司、一木浦、群山行 一月十三日 群山發 一月十八日 若松發

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行 相模丸 一月廿八日 正午出帆 / 三河丸 一月十九日 正午出帆 / 淡路丸 一月十二日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部